

平成29年度

# おおさか 環境にやさしい 建築表彰作品集



Osaka Environmentally Friendly Architecture Award

主 催 大阪府・大阪市

協力：(公社)大阪府建築士会、(公財)大阪府都市整備推進センター、  
(一財)大阪建築防災センター、(一社)大阪府建築士事務所協会、  
(一財)日本建築センター、(一財)日本建築総合試験所、  
(一社)不動産協会関西支部、近畿建築確認検査協会

## はじめに

大阪府と大阪市は、温暖化を緩和し快適で住み良いまちをつくるため、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律や、府市それぞれの条例に基づく建築物の環境配慮制度により、建築物の省エネや省CO<sub>2</sub>等に取り組んでいます。

建築物の環境配慮制度とは、温暖化やヒートアイランド現象の一要因ともなっている建築物に着目し、一定規模以上の建築物の新築・増改築等を行う建築主に対して、省エネルギーをはじめとする総合的な環境配慮レベルの評価と届出を義務付け、環境にやさしい建築物の普及促進を図ろうとするものです。

普及促進の一環として、大阪府の「大阪サステナブル建築賞（大阪建築環境配慮賞）」と、大阪市の「CASBEE 大阪 OF THE YEAR」を統一した「おおさか環境にやさしい建築賞」により、特に環境配慮に優れた建築物の建築主及び設計者を表彰しています。このことにより、建築主等の環境に対する自主的な取組を促進し、良好な都市環境の確保と、環境にやさしい建築・まちづくりに対する意識の高揚を図っています。

この作品集は、表紙に記載の団体のご協力を得て発行していますが、一般の方、特に建築や設備関係を学ぶ学生などに先進的な環境配慮の取組みを広く知ってもらい、将来に役立てていただくとともに、本パンフレットを通じて建築環境への理解がより深まっていくことを期待しております。

## 審査・選考

表彰建築物は、大阪府温暖化の防止等に関する条例または大阪市建築物の環境配慮に関する条例に基づき届け出された建築物で、平成 28 年度の間に工事完了し、かつ、CASBEE 評価が S あるいは A であるもののうちから、「大阪府建築物環境配慮制度に関する検討会」、「大阪市建築物環境配慮推進委員会」にて選考されました。



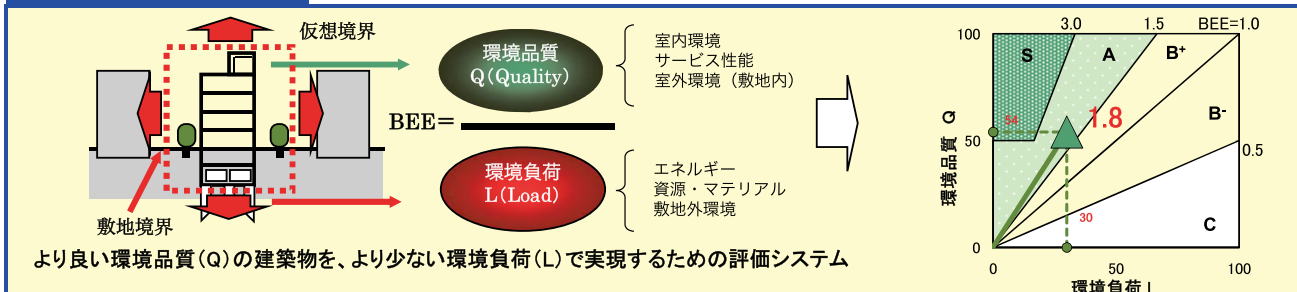
御堂筋：©(公財)大阪観光局

### 建築環境総合性能評価システム (CASBEE) とは

産官学共同プロジェクトとして開発された、建築物の環境性能を評価し格付けする手法で、省エネルギーや環境負荷の少ない資材の使用といった環境配慮だけではなく、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステムです。

(CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency)

### CASBEE 評価のしくみ



より良い環境品質(Q)の建築物を、より少ない環境負荷(L)で実現するための評価システム  
建築物の環境品質 Q (Quality) のスコアを建築物の環境負荷 L (Load) のスコアで除して算出される指標である、建築物の環境性能効率 BEE (Built Environment Efficiency) により、5段階で格付けします。

ランク	評価	BEE 値ほか	ランク表示
S	素晴らしい	3.0以上 かつ Q=50以上	★★★★★
A	大変良い	1.5以上3.0未満	★★★★
B+	良い	1.0以上1.5未満	★★★
B-	やや劣る	0.5以上1.0未満	★★
C	劣る	0.5未満	★

### 建築物環境性能表示 (ラベル表示)

CASBEE 評価と重点項目である CO<sub>2</sub> 削減、省エネ対策、みどり・ヒートアイランド対策や再生可能エネルギーの導入検討等について、建築物の環境性能をわかりやすく示しています。

例) 大阪府のラベル

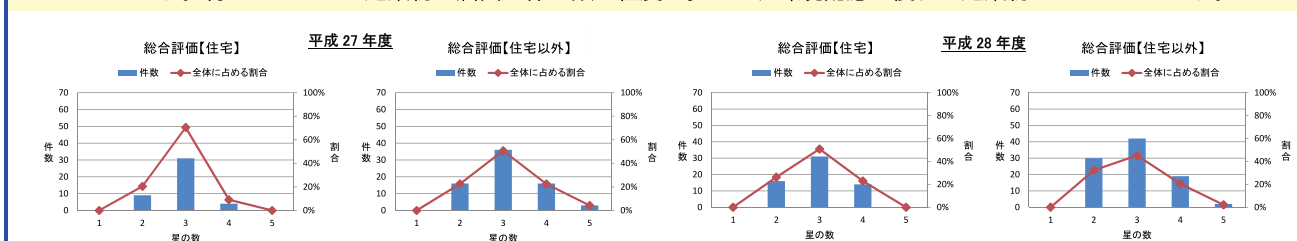
**再生可能エネルギー利用設備の導入状況**  
太陽光発電設備や太陽熱利用設備などの再生可能エネルギー利用設備が導入されているかどうかを示しています。桜マークの表示があれば、該当設備を備えた環境配慮建築物であることがわかります。大阪府内で CASBEE 届出対象となる建築物を新築・増改築する場合は、導入検討義務があります。

**CASBEE の総合評価**  
CASBEE の評価項目に基づき、環境性能を総合的に評価した結果を示すもので、星マークが多いほど優れています。

重点項目の取組みの評価	具体的な取組みの事例
CO <sub>2</sub> 削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>トップライトによる自然採光</li> <li>高炉セメントの使用</li> <li>既存地下躯体の利用</li> <li>既存建築躯体の継続使用・リサイクル建材の活用</li> <li>バイオガス施設 (メタン発酵槽)</li> </ul>
省エネ対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>Low-e 複層ガラス</li> <li>ルーバーによる日射遮蔽</li> <li>高効率給湯器</li> <li>太陽光発電 (自然エネルギーの変換利用) 【ラベル表示】</li> </ul>
みどり・ヒートアイランド対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋上緑化</li> <li>ウォーターミスト設置</li> <li>敷地緑化</li> </ul>

### 届出建築物の総合評価結果の分布状況

届出全体に占める S (星 5 つ) または A ランク (星 4 つ) の割合は、住宅、住宅以外のいずれの用途においても 20~30% 程度となっています。特に S ランクの建築物は届出全体の数%程度と少なく、環境配慮に優れた建築物であるといえます。



※平成 27・28 年度に大阪府の条例に基づき届出のあった建築物の CASBEE 総合評価の結果について、平成 29 年 11 月末時点で届出内容の確認が完了しているものを対象として集計



平成29年度おおさか環境にやさしい建築賞 審査講評

【総 評】

例年同様、本年度も大阪府温暖化の防止等に関する条例ならびに大阪市建築物の環境配慮に関する条例に基づき届け出された建築物について、それぞれが持つ環境への配慮に対する建築的工夫の計画における独自性、実現された建築デザインや様々な取組みを厳正に審査の上、選考した。

環境配慮とは、単にエネルギー管理用の特殊な設備機器を導入するだけではなく、敷地内の外構、建築的工夫によるエネルギー使用の抑制、ならびに建築屋内空間の快適さ・利便性を対象としたそれぞれの建築性能・設備機械による工夫をいう。

残念ながら、ここ数年の喜ばしくない傾向である、候補となる建築物の減少は今年も続き、候補数としては大阪府市の規模からいえば十分とは言えない。しかしながら、候補の環境配慮の取り組みのレベルは年々、高まっている。

本年度は大学の施設に新たな工夫が見られた。これから社会で活躍するであろう学生が、日常空間として環境に配慮した屋内外空間を体験することは、将来への普及展開として大きな期待がもたれる。

また、病院施設で眺望確保を優先した西向きファサードを採用し、建物配置や建築材料、高度な自然換気の誘導の工夫を行い、冷房負荷の増大に対応している点は、審査での望外の喜びであった。

本年度は候補物件に住宅が少なかったが、敷地境界のデザインにより、付近住民からも高評価を得ている事例は今後の同類計画の参考に大きく資すると思われる。

例年の傾向であるが、候補対象の設計・施工者にやや偏りが見られることが、さらなる普及展開の上では多少、気になる点ではあるが、年々、レベルが高くなるのが大阪全体の力になると思われる。今後、環境配慮を通じた優れた建築物がさらに増加することを切に望む。

惜しくも選外となった建築物についても環境配慮への積極的な取組みは評価に値し、その努力に感謝の意を表す。

【大阪府知事賞】

メディカルりんくうポート（泉佐野市）

機能的な自然換気システム、日射熱取得を制御する先進的な調光ガラス、十分な容量の太陽熱温水器、ICTを活用した見える化や照明・空調制御技術の導入など、様々な環境配慮技術を導入した建物であるとともに、環境デザインが極めて秀逸に意匠と融合している。なかでも、西面からの日射負荷を克服し、卓越風を自然換気のために最大限利用するための「ソーラーリボン」は、重要な環境配慮技術であるとともに同建物の意匠の最も重要な要素となっている。病室についても、自然換気のみならず、快適性と省エネルギーをバランスさせる天井放射空調が導入されており、快適な療養空間が構築されている。

以上のとおり、本建築は非常に多くの特徴的な環境配慮技術が採用され、建築と設備が高次元で融合した優れた建築であり、大阪府知事賞に相応しいと判断した。

【大阪市長賞】

大阪工業大学梅田キャンパスOIT梅田タワー（大阪市北区）

高層部の外装材として、北面は断熱を重視し、自然採光と空調負荷低減を実現した超高断熱ガラスを、南面は遮熱を重視し、エネルギー創出と日射抑制による省エネを実現した太陽光発電一体型の日射遮蔽庇や多機能ダブルスキンを採用するとともに、アースチューブピットにより地中熱を利用し、熱交換した空気を空調に利用するなど、様々な省エネへの取組みは独創性、先進性に優れている。

また、取り組んだ環境配慮の手法について建物各所に説明パネルを掲示するなど、学生への啓発を積極的に進める姿勢も窺える。

梅田中心部への良好な緑環境の提供など、周囲の街並みとうまく調和し、優れた環境性能を反映した建築デザインとなっており、大学の都市型キャンパスとして他の規範となる建築物であり、大阪市長賞に相応しいと判断した。

【住宅部門賞】

プレミスト北千里クラッシィ（吹田市）

既存の外構と周囲緑地を活用し、また、最寄駅からの付近住宅地へのアクセス歩道を取り込んだ外構計画が特徴的な集合住宅群である。住人に貸与するミニガーデン、周辺街路に設けた休憩用ベンチとミストを噴霧する遊び場空間などの公共提供も素晴らしく、周辺環境への調和配慮は特筆に値する。災害対応のためのかまどベンチ等の設備、4等級を基本とした住宅性能、HEMSによるデマンドレスポンスへの対応など、最新技術も数多く採用されている。付近自治会から今後の集合住宅の規範となることが期待されている点も高く評価された。

【事務所部門賞】

(50音順)

コイズミ緑橋ビル（大阪市東区）

知的生産性の向上に配慮した照明計画や、照度・人感センサーによるLED照明の点滅・調光制御や空調制御、電動ブラインドの連動など、先進的な取組みを行っており、事務室空間の照明、空調の最適化を図り、執務者個々に応じた快適な空間を実現できるように工夫されている。

隣接する住宅地に配慮した南面のセットバックや緑化、幹線道路沿いである北面の遮音ダブルスキンなど敷地特性を考慮した建築デザインとしても非常に優れている。中規模オフィスの規範として高く評価できる取組みである。

【商業施設  
その他部門賞】  
(50音順)

中之島フェスティバルタワー・ウエスト（大阪市北区）

窓周りに外気条件と室内負荷に応じた制御を行うアクティブスキン、建物の中心に外気導入を行うエコボイド、中之島という立地を活かした河川水利用による高COPの地域冷暖房の採用など、先進的な取組みがなされている。

敷地周辺への風環境に配慮し、中之島の地域特性を踏まえた周辺のまちなみに調和した統一感のある建築デザインであり、公共歩行空間の確保や周辺の緑化など、建物の公共性に配慮した点も評価され、街の賑わいづくりに貢献している。

EXPOCITY（エキスポシティ）（吹田市）

万博公園を望む広大な丘陵地に作られた大規模商業施設である。土地の高低差を活かしたアクセス道路、駐車場、建物群の基本配置、残土の再利用による廃棄削減、13本の既存樹木を保全し土地のアイコンとするなど入念な外構計画が特徴である。内部も万博の記憶を象徴する空間を施設内に設けるなど地域の歴史性と緑を点景として効果的に配した空中庭園、大型吹抜け上部のハイサイドライトによる自然採光、CO<sub>2</sub>制御換気などの省エネ技術も数多く採用し、郊外型大規模モールの環境配慮の模範となる計画といえる。

大阪商業大学ユニバーシティ・コモンズ・リアクト（東大阪市）

南面の庇、東西面の大型縦ルーバー、Low-Eガラス、自然換気の採用などのパッシブな環境制御手法に加えて、床吹き出し空調による個別制御、LED照明、CO<sub>2</sub>制御換気など、多くの省エネルギー技術を採用している。加えて、屋上には太陽光発電パネルと緑化を導入するとともに、駅から大学キャンパスへの動線を敷地に取り込んで地域交流施設を設置し、緑の親和空間を生み出すなど、地域づくりに対する積極的な参加意識が見られる点も評価できる。

大阪府立病院機構大阪国際がんセンター（大阪市中央区）

バルコニーによる日射抑制や病室窓部の外気取入れスリットなどの工夫を行っており、病室の水回りを窓側に設けるなど将来的な改装が容易な構造になっている点や鉄骨梁によるロングスパン構造を採用し、コンクリートの使用を最小限に抑えている点も評価できる。

外構では、歩道の拡幅や緑地帯の設置など、地域の潤いとアメニティの向上を図るとともに、建設中に出土した大阪城の刻印石を利用した石庭を整備し地域の歴史性の継承にも配慮しており、大阪城を望む官庁街である大手前の景観と調和した建築物である。

NIFREL（吹田市）

ウェブ・ウォール・ストラクチャーの採用により生み出された特徴的な外壁の菱形開口部やトップライトによる自然採光及び自然換気が、展示内容にうまく生かされている。また、人工海水を濾過循環する小型水槽の採用は、水族館につきものの海水輸送を不要とする省エネ・省資源の一つの回答であろう。特徴ある建物形状は、太陽の塔への眺望の確保に対するこだわりにより生み出されたもので、地域への配慮のあらわれとして評価できる。

プロロジスパーク茨木（茨木市）

先進の物流システムを具現化した大規模な倉庫建築であり、外皮の断熱性を高め、全館LED照明、調光システムを採用するなど、省エネルギー性が高く、屋根面で2MWもの太陽光発電を行うグレードの高い物流施設である。また高台の立地を活かした眺望の優れた休憩スペースや、将来の分割使用に対する配慮など、建築デザインとしても優れており、地域の自生樹木や環境条件に応じた多様な植栽など自然保全への取組みも評価できる。

守口市立さつき学園（守口市）

周囲を戸建て住宅やマンションに囲まれた市街地内に建つ公立学校の模範となる事例である。狭小敷地でありながらセットバックによる緩衝緑地の確保や歩道の拡幅・桜並木の整備・既存樹木を生かしたバタフライガーデンや屋上のおおぞら菜園の設置などの取組みによって、地域への配慮や子供の環境意識の育成に努めている。ワークスペースのある教室計画や太陽光発電の設置、吹抜けからの採光と風の塔の自動開閉換気窓による排気や教室のガラルの自然給気など多様な取組みも見られる。

平成29年度大阪府建築物環境配慮制度に関する検討会 及び  
平成29年度大阪市建築物環境配慮推進委員会 委員名簿 (50音順)

○印は、大阪府委員であり、大阪市委員も兼任

- 阿部 昌樹・大阪市立大学大学院法学研究科 教授
- 岩前 篤・近畿大学建築学部 学部長・教授（委員長）
- 田中みさ子・大阪産業大学デザイン工学部環境理工学科 准教授
- 鍋島美奈子・大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻（環境創生領域）准教授
- 山中 俊夫・大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻（建築工学部門）教授



# メディカルりんくうポート

癒される空間作りによる患者の「QOL向上」と「次世代の環境にやさしい病院」

## 建物概要

- 所在地：泉佐野市りんくう往來南
- 建築主：株式会社りんくうメディカルマネジメント
- 用途：診療所
- 設計者：株式会社日建設計

- 敷地面積：6,285.63 m<sup>2</sup>
- 建築面積：1,091.47 m<sup>2</sup>
- 延べ面積：4,608.26 m<sup>2</sup>
- 構造：鉄骨造
- 階数：地上6階/地下1階
- CASBEE 評価：Sランク/BEE値3.4
- 重点評価：CO<sub>2</sub>削減3.8/省エネ対策4.6  
みどり・ヒートアイランド対策3.5



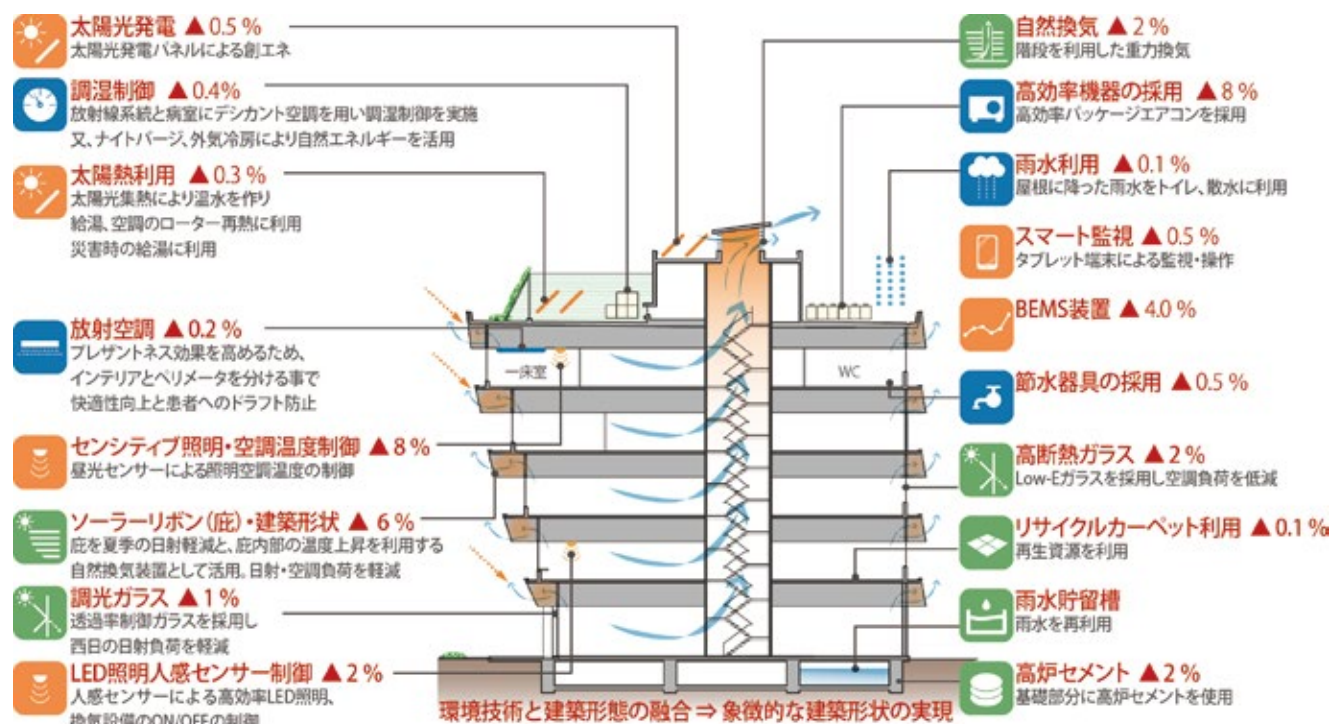
## 【立地、周辺環境】

関西の世界との玄関口りんくうタウンに位置している。りんくう公園と隣接した敷地は豊かな緑に囲まれますと共に、のびやかに続く大阪湾の海岸からは雄大な眺望が得られる風光明媚な敷地である。北西からの安定した恒常風も吹き、風と緑と光あふれる環境を有している。

## 【総合的なコンセプト】

入院患者のQOL向上に不可欠なのは、「癒される空間作り」＝「眺望」が重要と考え、海や夕日と共に、飛行機の離発着も眺めることが出来る西面に窓を設けた療養空間とした。西面の「眺望」を優先することはエネルギー消費量を大きくするが、心地良い西からの海風を効果的な自然換気に活かす建物形状、日射遮蔽に効果的な庇形状、太陽熱利用など自然環境と共存したパッシブ技術を導入。更に日射センサーによる照明・空調制御、室内負荷抑制として透過率制御ガラス、デシカントと放射空調を組み合わせた潜熱分離空調などアクティブな先進的技術を組み合わせ、眺望と省エネが両立した患者に優しい室内環境を実現している。また、関西国際空港を望む「りんくうタウン」は、国内のみならず海外からも多くの人々が訪れる魅力あふれる立地特性を最大限に活かし、「国際医療交流の拠点」にふさわしい、省CO<sub>2</sub>・省エネ技術を構築し国内外に発信することで、その技術と思想を広く波及・普及することを目指している。

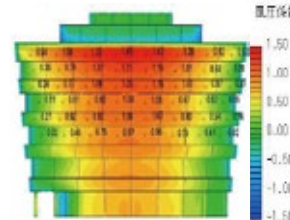
## 建物断面構成図



## 環境配慮事項とねらい

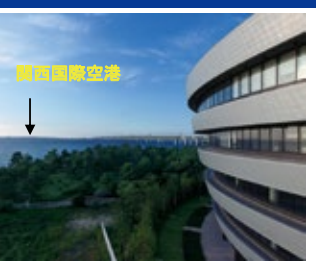
### I. ソーラーリボン 太陽と風を最大限に利用する

敷地の自然環境を最大限に活用する環境技術としてソーラーリボンは敷地の太陽光と風を最大限に利用したハイブリッドな換気システムを設けている。建物を取り巻く大きなリボン状の庇は日射を遮蔽するだけでなく、庇内部が太陽光で温められる事で外部との温度差を生み出し、室内外の温度差による自然換気を誘発。更に円弧状の建物形状は西側からの恒常風を受け流す形となっており、受け流された風は軒天吸気口の風向板を通して負圧を発生させる事で、誘引換気を同時に発生させる。ソーラーリボンは、窓を開けることなく病室単位で間接的な自然換気が可能な、クリーン換気システムである。



### II. 輻射空調 快適な療養空間の構築

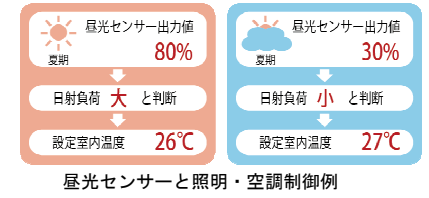
病室には安定した室内環境を提供するための空調設備が配置。ベッド上には天井と一体化した輻射空調、窓面には大温度差送風空調を採用し、ドラフトを感じさせない快適な空調を実現した。同時にこの空調システムは空気搬送動力低減による省エネを可能としている。また、病室の換気は太陽熱を利用したデシカント外調機による調湿された外気を供給。外気処理と室内空調を潜熱分離空調とし、熱源機の高効率運転による省エネを実現している。こうした省エネ技術を採用しながら、病室内から海や夕日を眺める事が出来る空間とすることで、こころからのリラクゼーション効果、がんばる力の源になる療養空間の構築を実現した。



### III. センシングと省エネルギー ICTによる環境制御

星光センサー、人感センサー、日射センサーを用い、照明のON-OFF制御、空調ON-OFF制御など一体となった制御を図る事で、省エネとコスト削減を両立させた計画とした。以下に主な制御を示す。

- ・日射や星光センサー、季節モードを組合せて、「透過率制御ガラス」を最適な熱負荷に制御。夏は透過率を抑え日射負荷を抑制、冬は明るさを優先しながら日射を侵入させ空調負荷を削減。
- ・日射センサー照度出力値をBAC-net通信で空調機器と連携し出力値に応じた、熱負荷を演算し室内空調温度の可変設定を行い消費電力の削減を図る。
- ・自然採光有効時の照明ON-OFF制御。



	U値(W/m <sup>2</sup> ・k)	日射熱取得率
Low-Eガラス	1.64	0.45
日射遮蔽ガラス	1.6	0.06~0.47 ※2

※1: ガラス:5-A12-5mm構成時  
※2: 電圧調整により数値を可変制御。

### IV. 誰にでも見える化 見えるエコから広めるエコへ

見える化と見える化技術が普及する中、メディカルりんくうポートではエコ情報を『見える意識・気持ち』への取組を強化したいと考え、IT製品(スマートフォン、スマートタブレットなど)と建物設備システムを連携させることで以下の取組みを実現した。

- ・エアコンや照明など日常操作する身近な製品操作にIT製品を活用。更に国際化の施設に合わせ、多言語に対応した製品を導入。
- ・運用後の省力、省エネ管理体制を構築。





# 大阪工業大学梅田キャンパス OIT 梅田タワー

市民開放型教育施設の環境統合計画による地球にやさしい都市型タワーキャンパス

## 建物概要

- 所在地：大阪市北区茶屋町
- 建築主：学校法人常翔学園
- 用途：大学
- 設計者：服部・石本・安井設計監理共同企業体

- 敷地面積：4,650.41㎡
- 建築面積：2,416.21㎡
- 延べ面積：33,853.94㎡
- 構造：S造、一部SRC造
- 階数：地上22階/地下2階
- CASBEE 評価：Sランク/BEE値4.1
- 重点評価：CO<sub>2</sub>削減4.0/省エネ対策5.0/みどり・ヒートアイランド対策3.0

## 【立地、周辺環境】

大阪梅田の茶屋町地区に立地する関西エリアに初となる都市型タワーキャンパスである。大阪市の地区計画に基づき、都市に回遊性をもたらす歩行者通路を形成し、都市の緑地空間「常翔の杜」を整備して、梅田に新しいまちの風景をもたらした。地下街から通路で接続し地下の回遊性にも寄与している。

## 【総合的なコンセプト】

大阪梅田の都心に、大阪工業大学梅田キャンパスが開学した。都心環境を活かし、技術とデザインを融合した新しい学びによるイノベーション人材育成が行われる。また、市民開放型で産官学民の連携を展開する教育施設である。新キャンパスでは、都心型の高層タワーにおいて、空間構成と建築部材の性能確保、および最先端の省エネルギー技術を用いることで、機械設備に依存しない自然の太陽、風、地中熱利用で機能するパッシブデザインの可能性を示した。また、地域防災を考慮したサステナブル BLP (事業生活継続計画) では、コージェネや太陽光発電等の日常的な発電利用を図ることで、災害時にも電源の確保を確実にする仕組みである。新キャンパスでの環境配慮の取組みにより省 CO<sub>2</sub> 効果は約 40% の削減を目指している。環境技術を教育の場において学生が自ら操作し体験でき、次世代への先進的環境教育の普及と、都市の低炭素まちづくりに貢献する事を意図している。

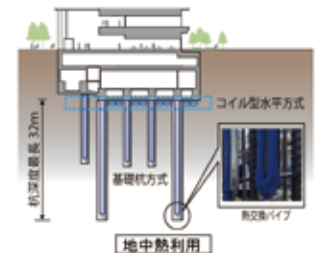
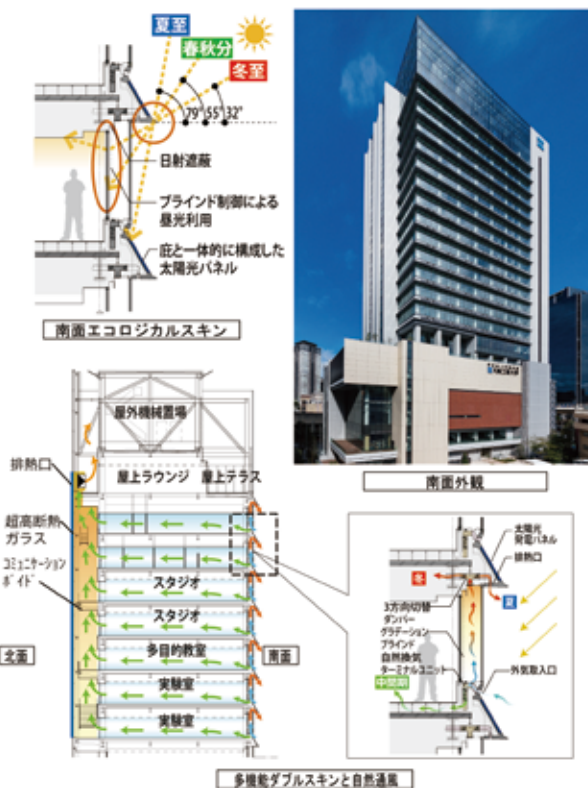


北西面外観

## 環境配慮事項とねらい

### 都市型タワーキャンパスの環境配慮とパッシブデザイン

- 都心立地の超高層タワー型キャンパスである本計画では、建築計画と環境設備の技術を統合的に計画し、環境配慮と防災を兼ね合わせた様々な施策を行っている。
- 高層部では、南北面の外装材を **エコロジカルスキン** として多機能化し、自然エネルギー利用や創エネルギー、空調負荷の低減を行う。
- 北面では、吹抜空間にある **コミュニケーションポイド** のガラスに超断熱ガラスを採用し、北面からの安定した自然採光と空調負荷の低減を同時に行っている。南面は **太陽光発電一体型の日射遮蔽** を外壁の層間パネルとし、創エネルギーと日射の影響を避ける省エネルギーを同時に実現した。
- 南の多機能ダブルスキンでは、夏は排熱、中間期は自然通風、冬には **太陽集熱利用** を切替ダンパーで行い、南から取込んだ空気の流れは、室内から北面のエコポイドに相当するコミュニケーションポイドを経由して頂部から排熱し循環させる。
- 年間を通じて安定した温度の地中熱を **基礎杭方式とコイル型水平方式** の併用でヒートポンプの熱源水として利用し、1階の床放射空調や上層階の天井放射空調に利用する。
- 地中熱利用の **アースチューブピット** で熱交換された空気は、低層階の空調に利用する。

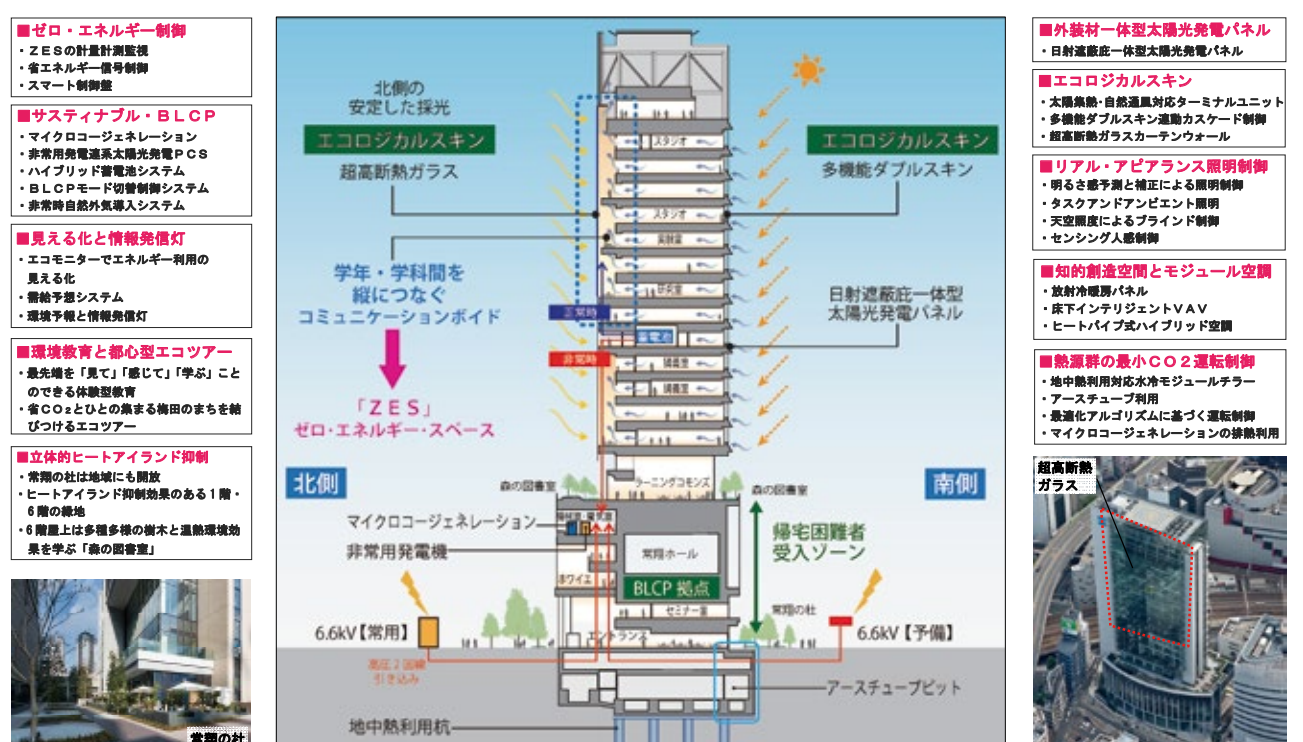


### 使われ方と最適化制御により拡張する ゼロエネルギー空間 (ZES)

- 都心の大規模建築物において、ZEBIに代わる新たな提案として、**ゼロエネルギー空間「ZES」**を計画した。北面吹抜けの学生の居場所となる **コミュニケーションポイド** は自然エネルギーを利用しやすいスペースで、年間の創エネルギーとエネルギー消費のゼロエネルギー化を図り、最適化制御を行うスペースである。
- 館内には様々な環境配慮の取り組みを紹介した **エコサイン** が各所に掲示されており、学生や大学の環境配慮に対する取組みと **エネルギー最適化制御** により「ZES」の範囲が拡張される計画である。



## 建物断面構成図



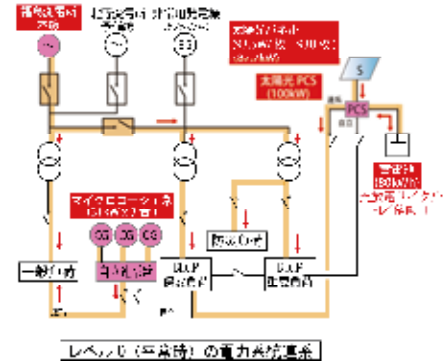
- **ゼロ・エネルギー制御**
  - ・ZESの計量計画監視
  - ・省エネルギー番号制御
  - ・スマート制御盤
- **サステナブル・BLCP**
  - ・マイクロコージェネレーション
  - ・非常用発電機太陽光発電PCS
  - ・ハイブリッド蓄電池システム
  - ・BLCPモード切替制御システム
  - ・非常時自然換気システム
- **見える化と情報発信**
  - ・エコモニターでエネルギー利用の見える化
  - ・蓄積予報システム
  - ・環境予報と情報発信灯
- **環境教育と都心型エコツアー**
  - ・最先端を「見て」「感じて」「学ぶ」ことのできる体験型教育
  - ・省CO<sub>2</sub>とひとの集まる梅田のまちを結びつけるエコツアー
- **立体的ヒートアイランド抑制**
  - ・常翔の杜は地域にも開放
  - ・ヒートアイランド抑制効果のある1階・6階の緑地
  - ・6階上には多様な樹木と通風環境効果を生く「森の回廊」

- **外装材一体型太陽光発電パネル**
  - ・日射遮蔽一体型太陽光発電パネル
- **エコロジカルスキン**
  - ・太陽集熱・自然通風対応ターミナルユニット
  - ・多機能ダブルスキン通風カスケード制御
  - ・超断熱ガラスカーテンウォール
- **リアル・アビランス照明制御**
  - ・明るさ予報と補正による照明制御
  - ・タスクアンドアンビエント照明
  - ・天照度によるブラインド制御
  - ・センシング人感制御
- **知的創造空間とモジュール空調**
  - ・放射冷暖パネル
  - ・床下インテリジェントVAV
  - ・ヒートパイプハイブリッド空調
- **熱源群の最小CO<sub>2</sub>運転制御**
  - ・地中熱利用対応水冷モジュールチェラー
  - ・アースチューブ利用
  - ・最適化アルゴリズムに基づく運転制御
  - ・マイクロコージェネレーションの排熱利用



## サステナブルBLCP

- 災害時は省電に加え、避難者や帰宅困難者を受け入れる計画とし、約750人を5日間受け入れられる施設として整備されている。
- 日常利用の環境配慮施策を災害時に活用する **サステナブルBLCP** (事業生活継続計画) の構想により、災害レベルに応じた **電力供給系統速達システム** を構築し、全てのエネルギー供給が絶たれても、太陽光発電と蓄電池システムにより最低限の電力供給を行うことで建物の機能維持を可能としている。



レベル	電力	照明	空調	エレベーター	非常用発電機	非常用蓄電池
レベル0 (平常時)	供給	供給	供給	供給	供給	供給
レベル1 (商用電力停電)	供給	供給	供給	供給	供給	供給
レベル2 (非常用発電機の稼働)	供給	供給	供給	供給	供給	供給
レベル3 (非常用発電機の燃料枯渇)	供給	供給	供給	供給	供給	供給



# プレミスト北千里クラッシィ

緑とコミュニティ豊かな住環境、安全・安心の暮らしを創出し地域活性化を牽引する「緑園住区」を創造

## 建物概要

- 所在地：吹田市藤白台3丁目
- 用途：集合住宅
- 敷地面積：29,654.83㎡
- 建築面積：7,740.89㎡
- 延べ面積：46,240.26㎡
- 構造：鉄筋コンクリート造
- 階数：地上10階/地下1階
- CASBEE 評価：Aランク/BEE値1.7
- 重点評価：CO<sub>2</sub>削減4.0/省エネ対策3.8  
みどり・ヒートアイランド対策3.5

- 建築主：大和ハウス工業株式会社、住友商事株式会社
- 設計者：株式会社竹中工務店大阪一級建築士事務所



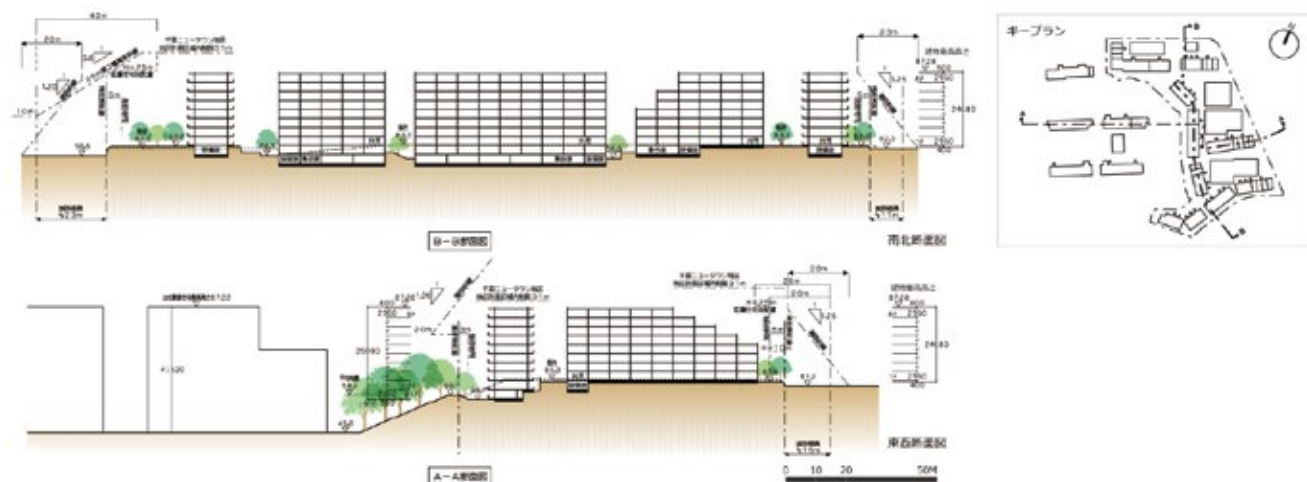
## 【立地、周辺環境】

千里ニュータウンの住宅ゾーンを代表する「北千里」エリアの中心となる北千里駅前に立地し、周辺は戸建住宅や集合住宅街が広がる緑豊かな美しい街並み、閑静な住環境である。計画地は、大阪府住宅供給公社の建替えに伴う千里ニュータウン再生指針に基づく民活事業である。

## 【総合的なコンセプト】

緑とコミュニティ豊かな住環境、安全・安心の暮らしを実現「絆」「継続」「再生」をテーマに、周辺近隣の生活動線の確保、地域に開かれた街かど広場、周辺の恵まれた自然環境の最大活用など、生活の利便性や人・自然との触れ合いの持てる安全・安心な暮らしにより、世代間・居住者間・周辺住民との交流が育まれる思いを込め、次の50年に向けて新しい千里ニュータウンの再生指標を目指した。

## 建物断面構成図



### ■ 共用部の取組み

#### 周辺環境との調和

- ・オープン外構による周辺住民への生活動線提供、周辺緑地との外構空間の調和
- ・住棟段落ちと離隔距離確保、街かど広場や休憩用ベンチなど敷地の公共提供と景観形成

#### 環境の保全

- ・屋上緑化、透水性舗装、LED照明、電気自動車充電スタンド、緑化率30%、既存樹木保存

#### 自然エネルギーの活用

- ・雨水貯留槽設置と再利用（屋外散水）、太陽光発電設置

#### 災害に対応した施設・設備の常備

- ・太陽光発電の非常時利用、自家発電設備、かまどベンチとマンホールトイレ設置

### ■ 専有部の取組み

#### 熱負荷削減

- ・複層ガラスの採用と住宅性能表示省エネルギー対策等級4の取得

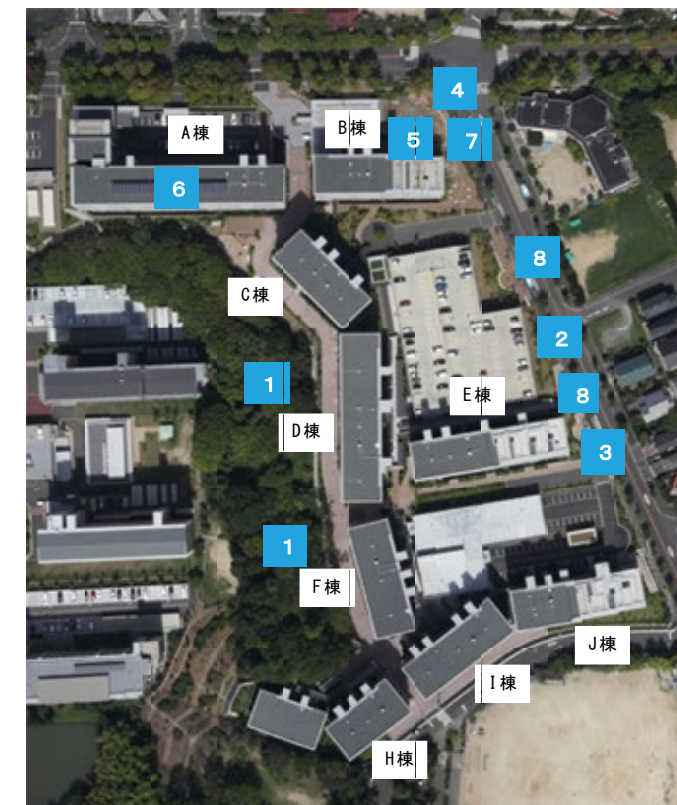
#### 空調エネルギーの削減

- ・潜熱回収型ガス給湯器の採用
- ・スマートマンション認定1号

#### パッシブデザイン

- ・HEMSによるデマンドレスポンス対応
- ・自然通風・換気・視界の確保

## 環境配慮事項とねらい



**SMART MANSION**  
経済産業省  
「スマートマンション」認定

D-HEMS  
電気代を「見える化」して節約

デマンドレスポンス  
電気代を削減し、電力供給を最適化

スマートマンション認定のメリット

- 電気代を削減できる
- 省エネ設備が充実している
- 最新の設備が採用されている
- 最新の設備が採用されている

スマートマンション認定のメリット

- 電気代を削減できる
- 省エネ設備が充実している
- 最新の設備が採用されている
- 最新の設備が採用されている

スマートマンション認定のメリット

- 電気代を削減できる
- 省エネ設備が充実している
- 最新の設備が採用されている
- 最新の設備が採用されている

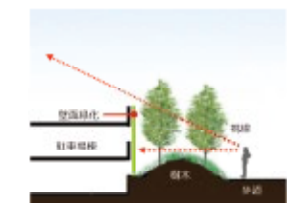
### 1 西側近隣住民への配慮

・府公社千里藤白台との十分な離隔距離(25m以上)を確保、バルコニーが向き合わない住棟の向き・配置し、圧迫感やプライバシーに配慮



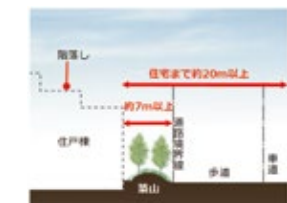
### 2 低層住宅地への配慮

・樹木や駐車場の壁面緑化により、緑に包まれた歩道は、自然な木漏れ日の影を創り出し、解放感のある沿道を創出。  
・低層住宅地に対し、築山の配置や交流スペースの屋上緑化により、アイレベルからは緑の景観に溶け込む街の風景を創出。



### 3 低層住宅地への配慮

・建物をセットバックさせ、緑のバッファゾーン・オープンスペースを十分に取り、分節化や階落しにより低層住宅地への圧迫感を軽減



### 4 街かど広場

・各棟・近隣からもアクセスしやすい位置に街かど広場を配置し、地域の交流スペースを創出



- 専有部の環境配慮
  - ①サッシに複層ガラスを採用し、住宅性能表示省エネルギー対策等級4を取得
  - ②潜熱回収型ガス給湯器の採用
  - ③シックハウス対策として全住戸にF☆☆☆☆、規制対象外建材を使用
  - ④経済産業省「スマートマンション認定」1号
  - ⑤パッシブデザイン（通風・視界確保の玄関窓・通風窓など）

### 5 環境の保全

- ・透水・保水性舗装、屋上緑化と敷地緑化よりヒートアイランド抑制
- ・街かど広場にミストシャワー
- ・電気自動車の充電スタンドを設置

### 6 自然エネルギーの活用

- ・雨水貯留槽を設置し、日々の植栽への散水や非常時の利用
- ・太陽光発電(30kw)による創エネ技術

### 7 災害時対応の施設・設備を常備

- ・街かど広場には災害時の一時避難場所としてかまどベンチ、マンホールトイレを設置、太陽光発電の非常時利用
- ・住棟には災害時に対応した非常時設備、自家発電機設置

### 8 季節感を感じながらの語らいの場の設置

- ・沿道にはポケットパークを配置し、居住者や近隣の方々の休息や語らいの場を確保。
- ・緑の連なりの中で、季節感を演出する緑地帯を設け、駐車場壁面には壁面緑化を施すなど、緑豊かな中で出会い・語らえる沿道。





# コイズミ緑橋ビル

先導的なDALI連携BAシステムと自然環境配慮により省CO<sub>2</sub>と知的生産性向上の両立を目指した研究開発拠点

## 建物概要

- 所在地：大阪市東成区東中本2丁目
- 用途：事務所
- 敷地面積：1,466.41㎡
- 建築面積：1,128.04㎡
- 延べ面積：5,225.73㎡
- 構造：S造
- 階数：地上6階/地下-階
- CASBEE評価：Sランク/BEE値3.0
- 重点評価：CO<sub>2</sub>削減3.0/省エネ対策4.0  
みどり・ヒートアイランド対策4.0

- 建築主：小泉産業株式会社
- 設計者：株式会社竹中工務店大阪一級建築士事務所



## 【立地、周辺環境】

地下鉄緑橋駅に近く、住宅と市街地が混在するエリアである。敷地北側には高架の幹線道路があり、残り3面は集合住宅や戸建て住宅が隣接している。

## 【総合的なコンセプト】

照明器具の開発・販売を行っているコイズミ照明株式会社の研究開発オフィスである。階段状の緑のバルコニーにより周辺環境と共存しつつ、外皮熱負荷を低減。知的生産性の向上にも配慮した照明計画や高度な照明制御、空調・ブラインド等の設備とも連携したDALI連携BA（ビル・オートメーション）システムを軸に、中小規模建築物に最適な設備システムを実現。DALI連携システムにより、執務者の知的生産性の向上と省エネ性の両立を図り、効果の検証も行うことで地方都市や住宅地に建設される中小オフィスビルでの省CO<sub>2</sub>技術のプロトタイプとなることを目指した。平成27年度第2回サステナブル建築物等先導事業（省CO<sub>2</sub>先導型）採択プロジェクト。

## 建物断面構成図

### 吹抜けや階段状の緑地により省CO<sub>2</sub>を実現



CO<sub>2</sub>削減量 208.2t-CO<sub>2</sub>/年の削減  
CO<sub>2</sub>排出削減率 43.2%

知的生産性を向上する新たなオフィス照明とDALIによる高度な照明制御  
83.3t-CO<sub>2</sub>/年の削減

DALIを用いた照明設備と空調設備など他設備との連動制御  
43.5t-CO<sub>2</sub>/年の削減

BEMSによる見える化と効果の検証  
30.7t-CO<sub>2</sub>/年の削減

緑化したバルコニー及びダブルスキンによる外皮熱負荷低減ファサードの実現  
16.7t-CO<sub>2</sub>/年の削減

太陽光発電、非常用発電機による重要ミニマム負荷の自立化  
5.5t-CO<sub>2</sub>/年の削減

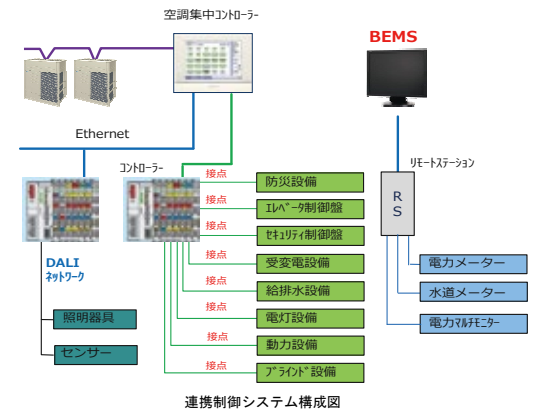
軽量天井やダンボールダクトによる地震時の被害軽減  
吹抜け階段による自然採光・自然換気  
5.8t-CO<sub>2</sub>/年の削減

照明と空調のパーソナリゼーションによる省エネ性と快適性の両立  
19.7t-CO<sub>2</sub>/年の削減

## 環境配慮事項とねらい

### ■ DALI 連携システムを軸にした設備システム

- ・ オフィス空間での明るさ感向上やパーソナリゼーションを図った新しい照明スタイルを構築（全館LED）
- ・ 中央監視盤を設置せず、照明制御のオープンプロトコルであるDALIにより、空調集中コントローラーを用いて、センサとの連動による照明の点滅・調光・調色制御を可能とするシステムを構築。
- ・ DALI 照明制御で用いている人感センサーを利用し、人の不在を検知し、照明減光に加え、空調設定温度の緩和や換気停止等を実現。
- ・ BEMS機能に特化したシステムを汎用パソコンで構成し、エネルギー管理や見える化を可能とし、運用時のエネルギー削減を促進。



### ■ 知的生産性・快適性を向上する設備システムと効果検証

- ・ 庇を配した階段状の緑化バルコニー及びダブルスキンによる外皮熱負荷低減ファサード
- ・ Low-E 複層ガラス、自動制御ブラインドによる眺望、採光、熱負荷の最適化
- ・ 階段吹抜けと自動開閉機能を有するトップライトによる自然採光・自然換気
- ・ 営業部門等の人の出入りの多い執務室を対象に、パーソナル空調を導入。ワイヤレスリモコンにより、個別にパーソナル吹出口を制御



### ■ 住宅地における中小オフィスビルへの波及効果

- ・ 太陽光発電、非常用発電機、可搬型蓄電池による重要ミニマム負荷の自立化
- ・ 軽量天井やダンボールダクトによる地震時被害軽減





# 中之島フェスティバルタワー・ウエスト

中之島の風土を生かした多様な公共スペースを建物全体に織り交ぜた、「誰もが享受できる」環境建築

## 建物概要

- 所在地：大阪市北区中之島3丁目
- 建築主：株式会社朝日新聞社、株式会社竹中工務店
- 設計者：株式会社日建設計
- 用途：事務所、ホテル、飲食・物販店舗、集会場、美術館、自動車車庫
- 敷地面積：8,377.84㎡
- 建築面積：6,106.48㎡
- 延べ面積：151,146.45㎡
- 構造：SRC造、一部RC造、S造
- 階数：地上41階/地下4階
- CASBEE：Sランク/BEE値3.1
- 重点項目：CO<sub>2</sub>削減4.0/省エネ対策4.0  
みどり・ヒートアイランド対策3.0



## 【立地、周辺環境】

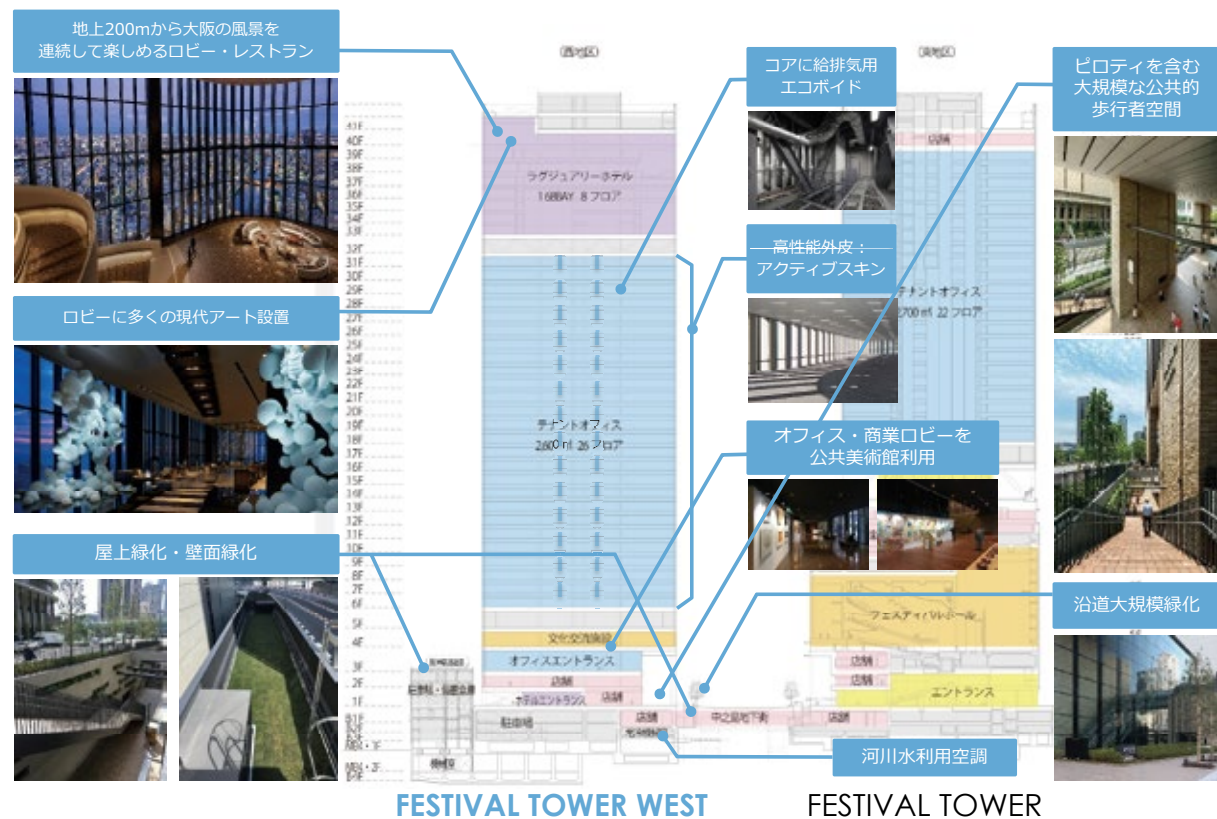
北は堂島川、南は土佐堀川を望み東側では四ツ橋筋に位置する。中之島フェスティバルタワー(2012竣工)とともに新たな大阪のランドマークとなった。

## 【総合的なコンセプト】

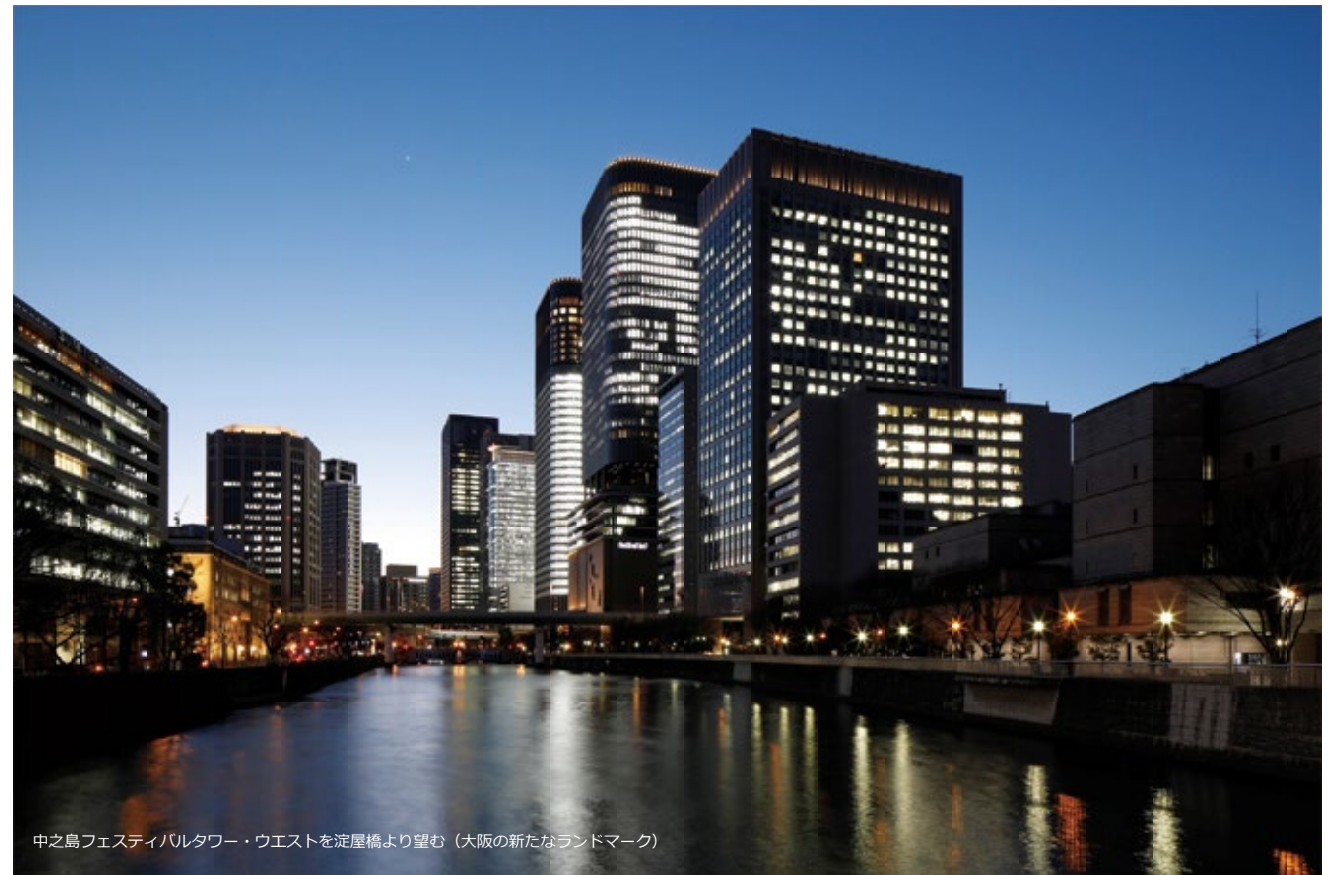
足元では公共的歩行者空間を十分に確保し、沿道部には高木・低木を配置し、中之島フェスティバルタワーの外構空間と対になるゆったりとした公共空間を整備。

壁面緑化を配した地下広場やピロティ空間はイベント開催を定期的に行い賑わいを生むとともに都市のアメニティを高めた。また、最上階のホテルのロビー・レストランフロアでは360度パノラマの風景と現代アートを体感でき、建物全体に多様な公共性を織り交ぜた。

## 建物断面構成図



## 環境配慮事項とねらい



中之島フェスティバルタワー・ウエストを淀屋橋より望む（大阪の新たなランドマーク）

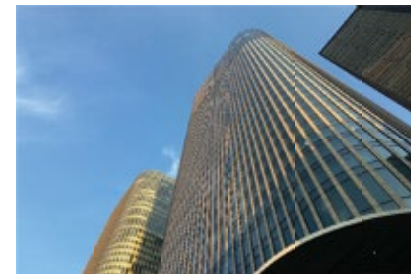


四ツ橋筋に面し、3層吹き抜けの大ピロティ空間を公共的歩行者空間として整備し、多目的なイベントや日常歩行者空間として都市に提供

またコーナー部に株立ちの山桜を植えるとともに、北・東・南の沿道空間は積極的な高木・低木の緑化を行った。



低層は煉瓦壁を積極的に採用し、夏場の熱進入を抑えるとともにまちに落ち着いた雰囲気を与えている。また、歩行者空間は消防局や大阪市都市計画局と協議し日常的な賑わい形成のためのテラス席などを用意した。



高層棟の外装はエアフローを組み込んだダブルスキンとし熱負荷を最小限に抑えている。



地下広場は地下鉄や京阪電車へのアクセスのターミナルとなるが、そうした公共性の高い場所に積極的に壁面緑化を行い、アメニティを高めている。また阪神高速の屋上で大規模な屋上緑化を実施している。



堂島川の河川水の熱を利用した地冷空調システムを採用し、ランニングエネルギーを最適化した。



# EXPOCITY (エキスポシティ)

地球環境とつながる体験型複合商業施設

## 建物概要

- 所在地：吹田市千里万博公園
- 用途：物販店、飲食店
- 敷地面積：(EXPOCITY 全体) 171,485.63 m<sup>2</sup>
- 建築面積：39,859.06 m<sup>2</sup>
- 延べ面積：125,433.47 m<sup>2</sup>
- 構造：S造
- 階数：地上3階/地下2階
- CASBEE 評価：Aランク/BEE値 1.8
- 重点評価：CO<sub>2</sub>削減 3.0 / 省エネ対策 4.0  
みどり・ヒートアイランド対策 3.0
- 建築主：三井不動産株式会社
- 設計者：株式会社竹中工務店大阪一級建築士事務所



万博記念公園上空からの鳥瞰

## 【立地、周辺環境】

EXPO'70にて開業したエキスポランドの跡地を再開発した大型複合商業施設であり、敷地の北側には「日本万国博覧会記念公園」、西側にはホテル・モノレール駅があるなど交通の便も良く、自然豊かな地域に隣接した位置にある。

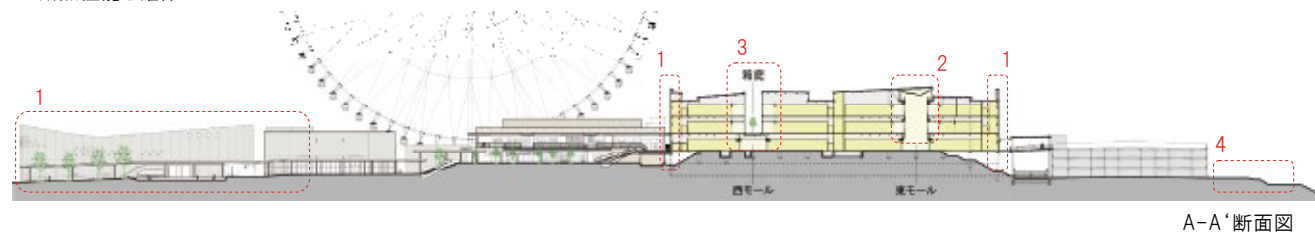
## 【総合的なコンセプト】

複合型エンターテインメント施設として、多様なコンテンツ・多様な施設を「つなぐデザイン」をコンセプトに掲げ、起伏に富んだ既存の敷地形状を活かした構成や法面の植栽を計画している。また、外部にはオープンモール、内部にはエンクロードモールを持つハイブリッドモールを形成し、内部にはエコヴォイド・ハイサイドライト・トップライト等を設け、どこにいても外部を感じられる構成としている。

## 建物断面構成図



- 1: 人工芝と植栽に覆われた自由な活動を受け入れる「空の広場」  
主要外壁に両面金属板張り断熱パネルを採用し、PAL値 717MJ/m<sup>2</sup>年となる断熱性能を確保
- 2: ハイサイドライトから自然光を取込む東モール
- 3: 四季を感じる植栽を設けたエコヴォイド
- 4: 敷地の高低差を生かした造成計画による法面植栽



A-A' 断面図

## 環境配慮事項とねらい

既存の地形を生かした「地球環境配慮型商業施設」



- 1: 造成量を少なくし切盛土量を削減。残土量0を目指すことで、場外への搬出土量を削減し、工事車両の削減及び擁壁の削減を実現。法面上にオーバーハングする建築部分は突出杭とし施工性を向上。レベルの低い北西部はほぼそのままのレベル設定としている。  
部分的に高いところを削り、低いところに埋め立て、整地な平面をできるだけ大きく確保  
地盤レベルの低い部分に床をオーバーハングさせ、その下部に駐車場を差し込み、駐車台数の確保と、合理的な駐車場動線を計画
- 2: 敷地内緑化率(吹田市基準)21%を確保、既存の植生に配慮した植栽計画や、既存樹木の移植により周囲の豊かな植栽環境を継承。



3: オープンモールとエンクロードモールのハイブリッド型モールとして外部環境をとり入れた設計。エンクロードモール(西モール)内へのエコヴォイド・トップライトの設置。



北側オープンモール(オレンジサイト) 太陽の広場 エコヴォイド B-B' 断面図及び内部・外部写真

4: エンクロードモール(東モール)への自然排煙兼用ハイサイドライトの設置。



東モールのハイサイドライトと折板天井 ハイサイドライト断面図 エネルギー利用フロー図

5: スマートコミュニティの思想を導入し、隣接した市立吹田サッカースタジアムと一体で一括受電方式を採用。エネルギーの効率化やエネルギーの観点からの地域防災力強化を実施。



太陽光発電 ハイブリッド照明(風力・太陽光) 井水利用施設 雨水利用概念図



# 大阪商業大学ユニバーシティ・コモンズ・リアクト

風通しに配慮し、地域に新しい息吹を吹き込む新キャンパス

## 建物概要

- 所在地：東大阪市御厨栄町1丁目
- 用途：学校
- 敷地面積：8,709.92㎡
- 建築面積：2,714.21㎡
- 延べ面積：7,465.83㎡
- 構造：S造
- 階数：地上4階/地下1階
- CASBEE評価：Aランク/BEE値1.8
- 重点評価：CO<sub>2</sub>削減4.6/省エネ対策4.2  
みどり・ヒートアイランド対策3.2
- 建築主：学校法人谷岡学園
- 設計者：株式会社久米設計大阪支社



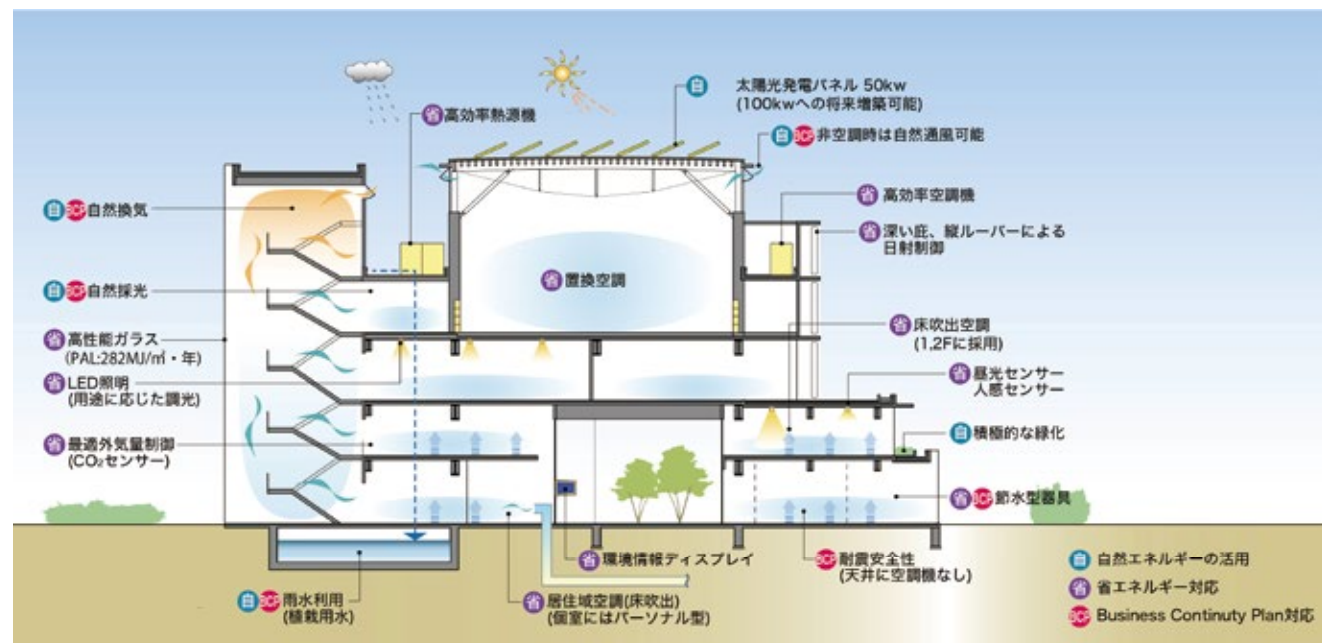
## 【立地、周辺環境】

本敷地は河内小阪駅北側、元ハウス食品の工場跡地で、本キャンパスと駅の間に位置する。本建物と駅の間には古くからある商店街、「きらっと小阪商店会」が広がる立地環境である。

## 【総合的なコンセプト】

河内小阪駅前、大商大だけでなく地域住民も行き交う場所に完成したre-Act。4階建て校舎の中に西日本最大級、500坪の広さを有するラーニングcommonsを備えることで、学生が自発的に学ぶ「アクティブ・ラーニング」の場を作り上げた。上層階は現代的に、1階部分は谷岡記念館の外観イメージを継承したデザイン。大きなピロティ（re-Act モール）や緑地化された憩いの広場を設置することで、地域に開放的な空間を提供する。

## 建物断面構成図



## 環境配慮事項とねらい

# 環境にやさしい、経済的で長寿命なサステナブルキャンパスの実現

### ■省エネルギー性を高める建築のしつらえ

- ・高性能ガラスに加え、深い庇や縦ルーバーなどにより日射を適切に制御する。
- ・階段室の上昇気流を利用した効率的な自然換気は、中間期の外気による自然冷房を可能にし、空調機器による冷房期間を短縮、エネルギー消費量を削減。

### ■全館にLED照明を採用

- ・全館にLEDを採用し、さらに屋光センサーによる減光制御、人感センサーによる点滅制御などを組み合わせ、省エネルギー性を高め、機器の交換頻度も少なくした。
- ・用途に応じて、調光や調色をできる器具を採用。
- ・アリーナでは、拡散パネル付きの器具を採用し、使用時のまぶしさを軽減。

### ■全館に床吹出空調を採用

- ・床からの輻射とやわらかな吹出しによる床吹出空調（居住域空調）を全館に採用し、省エネルギーを図るとともに、天井に機器を配しない、安全性の高い学習環境を実現。
- ・グループワークや可動間仕切りのある中講義室では、床吹出口を採用し、個別制御性を高める。
- ・床吹出空調は、2重床区間を利用したダクトレスシステムとなるため、将来の間仕切り変更も、吹出口の移動や追加のみで対応可能。

### ■その他の省エネルギーの手法

- ・アリーナ屋上には50kW相当の太陽光発電パネルを設置、将来増設用としてさらに50kW分のパネル設置スペースを確保。
- ・屋根面に降った雨水は、空調ドレン水とともに雑用水（便器洗浄水、植栽用水）に利用、超節水器具の使用とあわせて市水使用量を大幅に削減。
- ・その他、高効率空調・熱源機、高効率変圧器、排熱回収、省エネエレベーターなど、様々な省エネルギー手法を採用。

### ■積極的な緑化

- ・2階、3階の屋上を緑化することで、建物の断熱性能の向上、ヒートアイランド現象を緩和。
- ・敷地内に郷土の庭（緑化された駐車場）、憩いの庭（芝生）、安らぎの森を作り、緑化率29.8%を確保。

### ■エネルギーの最適運用と見える化

- ・エネルギー消費傾向や省エネルギー手法の効果をモニタリングするBEMS（ビル・エネルギー・マネジメント・システム）を導入し、最適な運用をサポート。
- ・1階ホールに設置する「環境情報ディスプレイ」にエネルギー使用状況や省エネ技術の仕組みとその効果を映し出すことで、施設利用者に対し環境配慮への取り組みやその姿勢を啓発。



LED照明を採用



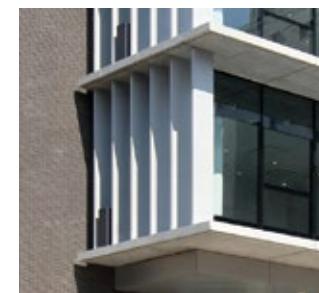
太陽光パネルの設置



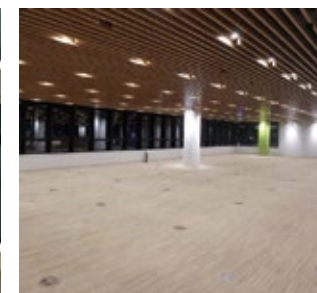
屋上緑化



高性能ガラスを採用



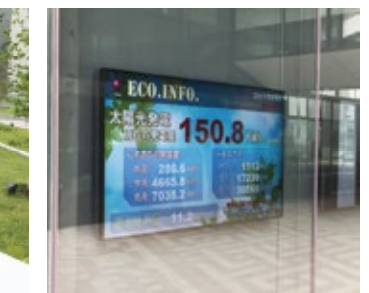
縦ルーバーによる日射制御



床吹き出し空調の採用



街に開かれた緑化



環境ディスプレイの設置



# 大阪府立病院機構大阪国際がんセンター

高度先進医療を提供する環境にやさしいがん医療の基幹病院

## 建物概要

- 所在地：大阪市中央区大手前3丁目
- 建築主：株式会社大阪メディカルサポート PFI
- 用途：病院
- 設計者：大阪府立成人病センター整備事業 日本設計・竹中工務店共同企業体

- 敷地面積：12,833.42㎡
- 建築面積：6,821.79㎡
- 延べ面積：68,268.61㎡
- 構造：RC造、一部S造、免震構造
- 階数：地上13階/地下2階
- CASBEE：Aランク/BEE値1.9
- 重点評価：CO<sub>2</sub>削減3.0/省エネ対策4.0  
みどり・ヒートアイランド対策4.0



## 【立地、周辺環境】

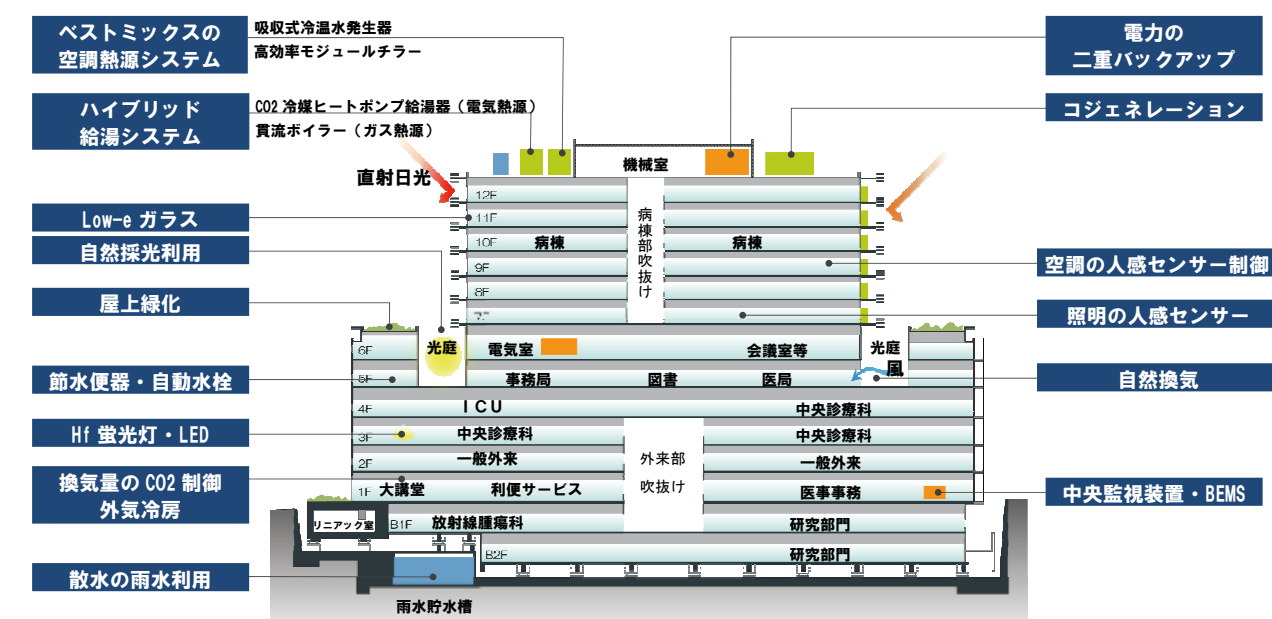
行政機能が集積する中央区大手前地区に立地し、前面道路に面して大手門への参道として建物北側低層部の屋上緑化と連続させた緑豊かな歩行者動線を拡幅整備するとともに、地下鉄谷町四丁目駅から当施設に至る地下連絡通路を延長することで地区の回遊性を高めている。

市道大手橋線に面するアプローチ空間には当敷地から出土した徳川氏による大阪城再建時の刻印石を利用した石庭を整備し、大阪城を中心とした周辺環境と調和を図ることで質の高い都市空間を形成している。

## 【総合的なコンセプト】

同センターは、「病院」機能に加え、治療成績向上のための方法を見出す「研究所」機能と、大阪府のがん患者のデータ収集から予防と早期発見に努める「がん対策センター」機能が一体となった最先端の専門病院。「がんの征圧」を使命とし、「がん医療日本一」を目指して、高度先進医療の実践など先進的な役割を果たすための環境の充実をはかる。施設整備にあたっては、患者さんにとって安全で優しい「ストレスフリーな療養環境の場」の実現、チーム医療の促進のための「コラボレーションの場」の創出、良好な職務環境のための「オンからオフの切り替えの場」の提供、将来の医療環境の変化や患者のニーズの変化に柔軟に対応できる「フレキシビリティの高い施設環境」の実現を4つの基本コンセプトに機能性と環境に配慮した様々な工夫を盛り込んで計画。安全で優しい病院として地域に愛される病院となることを目指す。

## 建物断面構成図



## 光熱水費の削減に向けた取り組み

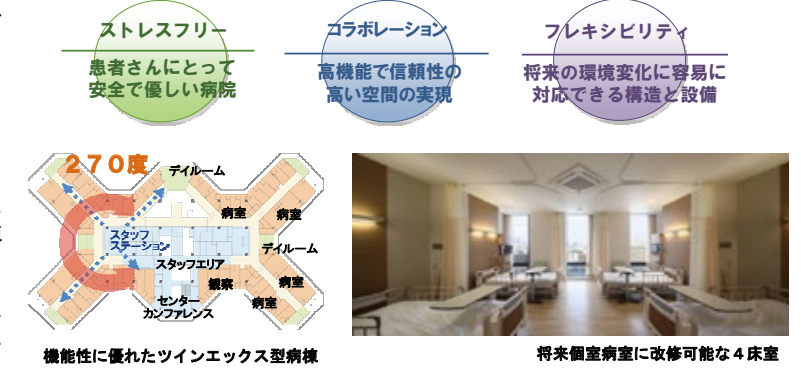
## 環境配慮事項とねらい

地域に愛される病院としてまちなみ景観に配慮するとともに、環境負荷低減、施設の長寿命化、メンテナンス性の向上を実現した、高度先進医療を提供する患者さんと環境にやさしいがん医療の基幹病院

### 良好な治療環境

**ストレスフリー 患者さん、周辺環境に優しい病院**

- ・ツインエックス型病棟は機能性、効率性に優れ、スタッフステーションから病室までの距離が短く、病棟廊下に向かう3方向へ270度視野が広がるコンパクトな病棟構成を実現。
- ・建築物表面等の高温化抑制に配慮し、低層部屋上を緑化、高層部には夏季の日射を抑制するバルコニーを設置、低層部外壁には明るい色彩を採用。
- ・病室空調方式は、患者さんにとって使い勝手がよいルームエアコン方式を採用。屋外機を設置したバルコニーには景観に配慮した目隠しパネルを設置。
- ・トイレ照明のオート制御、人感センサーを設置。
- ・外構および低層部屋上緑化には、地域特性の植生に配慮。
- ・給湯は、蒸気ボイラーとCO<sub>2</sub>冷媒ヒートポンプ給湯機を併用したハイブリッド式熱源にコジェネレーションの排熱利用を加えた高効率なシステムを採用。
- ・排水処理設備は敷地外への環境影響を考慮し、感染性排水処理設備、検査排水処理設備、RI排水処理設備、厨房排水処理設備を採用。
- ・前面道路には大手門への参道として歩道拡張を行い緑地帯を設置。アプローチには歴史を継承する大阪城の刻印石を利用した石庭を整備。



### 良好な職務環境・チーム医療の促進

**コラボレーション 高機能で信頼性の高い空間の実現**

- ・受電方式は、地中引込み、特別高圧22kVであり、電源の信頼性確保の為に2回線引込み(1系:本線・2系:予備電源)を採用。
- ・非常用発電機は停電時、重要負荷に出来るだけ早く電源を供給する事と、燃料備蓄量を抑える為に燃費を重視し、10秒起動のディーゼルエンジンを採用。
- ・電力ピークカット対策として、コジェネレーションシステムを採用。モジュールチラーも散水機能付の高効率機種とし、もっとも電力需要が多いと思われる盛夏の日中は散水を行い消費電力を制御。
- ・冷房時のベース機はガスコジェネレーションの排熱を利用する排熱利用冷温水発生機とし、負荷に応じて追いかけ運転可能な部分負荷効率のよい電力系のモジュールチラーを設置。

### 最先端医療の継続

**フレキシビリティ 将来の環境変化に対応できる施設計画**

- ・鉄骨梁によるロングスパン構造を採用し可変性・更新性に配慮。
- ・災害時における医療機能継続には、免震構造の採用や3日間電源供給可能な非常用発電機を装備。
- ・中央監視設備は各機器等の状態・監視を行い、製造熱量、エネルギー使用量、機器の運転効率などを計測演算し、運用段階において、コミショニングや運用改善が行えるように、各種データ収集・演算を行うBEMSを設置。
- ・空調熱源設備は、災害時などにおける医療機能継続性と年間を通しての高効率運用を重視した構成。電力需要のピークカットも考慮したシステムを採用。





# NIFREL

感性にふれる体感型ミュージアム

## 建物概要

- 所在地：吹田市千里万博公園
- 用途：博物館（水族館）
- 敷地面積：EXPOCITY 全体 171,485.63㎡
- 建築面積：3,512.49㎡
- 延べ面積：7,220.75㎡
- 構造：S造、一部SRC造・RC造
- 階数：地上3階/地下1階
- CASBEE 評価：Aランク/BEE値2.3
- 重点評価：CO<sub>2</sub>削減3.5/省エネ対策3.9  
みどり・ヒートアイランド対策3.5
- 建築主：三井不動産株式会社、株式会社海遊館
- 設計者：株式会社竹中工務店大阪一級建築士事務所



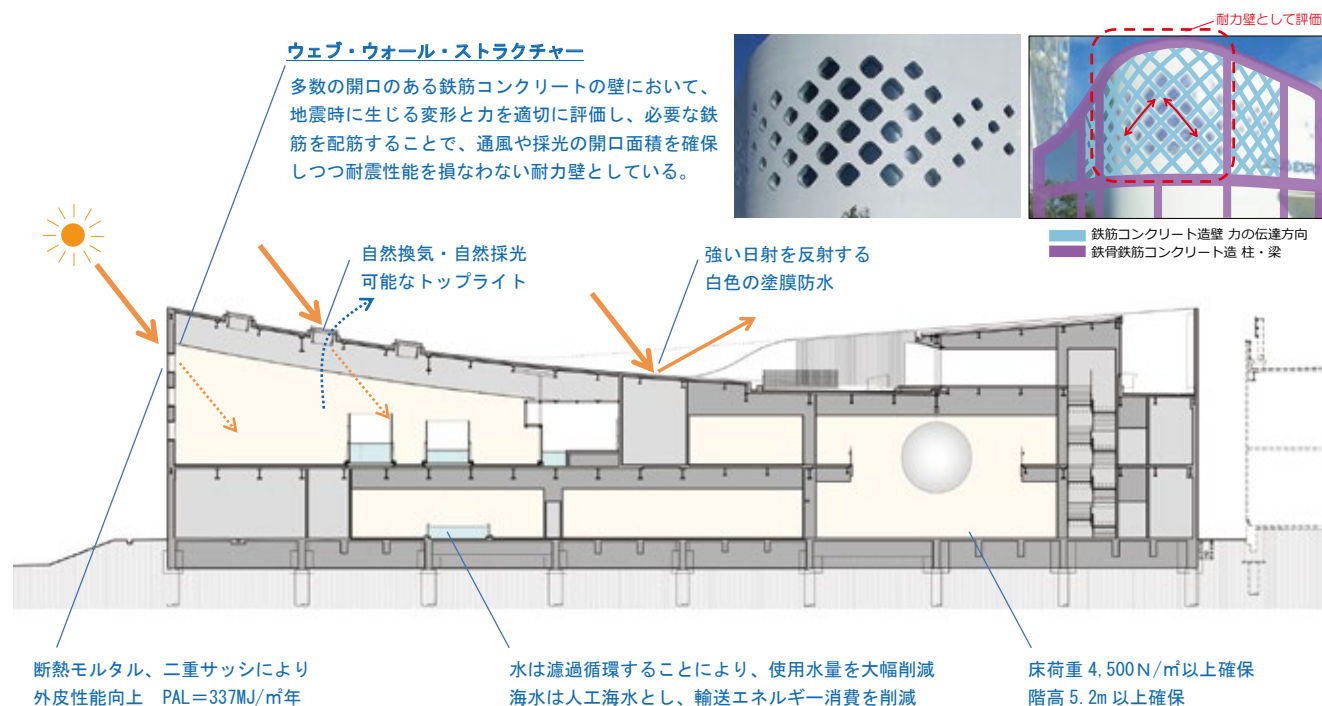
## 【立地、周辺環境】

敷地は太陽の塔を望む万博公園の南側敷地の一部で、複合商業施設 EXPOCITY の中でモノレール駅に一番近い場所に位置する。

## 【総合的なコンセプト】

日本最大級の水族館「海遊館」を運営する株式会社海遊館が初プロデュースし、大阪万博跡地に2015年11月開業した全く新しいコンセプトの展示施設である。従来の水族館とは大きく異なり、美術館、博物館、動物園、水族館などが融合した体感型ミュージアムとなっている。NIFREL（ニフレル）という名称は、「～にふれる」に由来する。これは単に生き物とのふれあいを意味するのではなく、ここを訪れた人々の「感性にふれる」ことを意味する。この施設を訪れる人々が生き物の不思議や神秘を体感できるような展示空間を目指した。

## 建物断面構成図



## 環境配慮事項とねらい



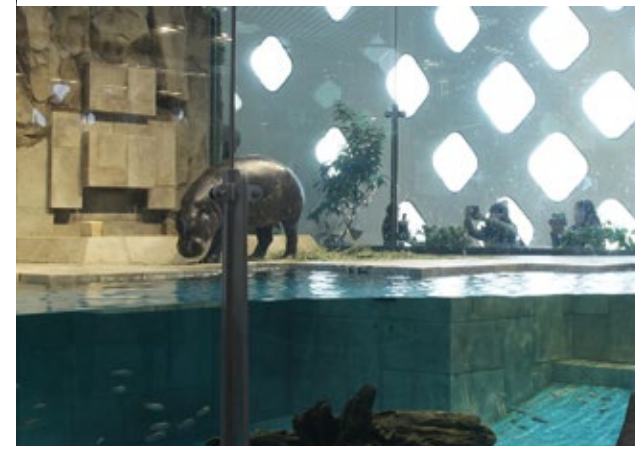
## 万博エリアの新しいランドマーク

この施設を訪れる人々が建物にアプローチする段階でワクワクし、気分を高めることができるパビリオンのような建物を目指した。外観デザインは、水生生物を想起させる流線型のフォルムに、水泡のような開口を複数配置する構成とした。外装材は白色の超硬化ウレタン塗膜防水を採用。インパクトのある外観をつくとともに日射の反射、防汚性、耐久性に配慮した。



## 木漏れ日の中のような快適な展示空間

耐震性と意匠性を両立させた構造形式「ウェブ・ウォール・ストラクチャー」を採用し、展示空間に最適な照度を確保している。木漏れ日のような日差しは、日射負荷を低減するとともに、非日常的な展示空間を演出している。28台あるトップライトは電動で制御することができ、中間期の自然換気や動物の臭気対策として利用している。



## 水資源を有効利用する濾過循環システム

株式会社海遊館の水族館での経験を活かした濾過循環システムにより、他の動物園にはないクリアな水質を保つとともに、使用水量の大幅な削減が可能となった。海水は人工海水を採用することで、運搬コストの低減と輸送エネルギー消費の削減に寄与している。



# プロロジスパーク茨木

日本最大級の自走式・マルチテナント型物流倉庫

## 建物概要

- 所在地：茨木市彩都あかね
- 用途：倉庫業を営む倉庫

- 建築主：プロロジス（茨木特定目的会社）
- 設計者：清水建設株式会社関西支店一級建築士事務所

- 敷地面積：80,243.54㎡
- 建築面積：32,630.41㎡
- 延べ面積：189,741.77㎡
- 構造：RC造一部鉄骨造
- 階数：地上6階/地下-1階
- CASBEE 評価：Sランク/BEE値 3.0
- 重点評価：CO<sub>2</sub>削減 3.9 / 省エネ対策 3.9  
みどり・ヒートアイランド対策 3.2



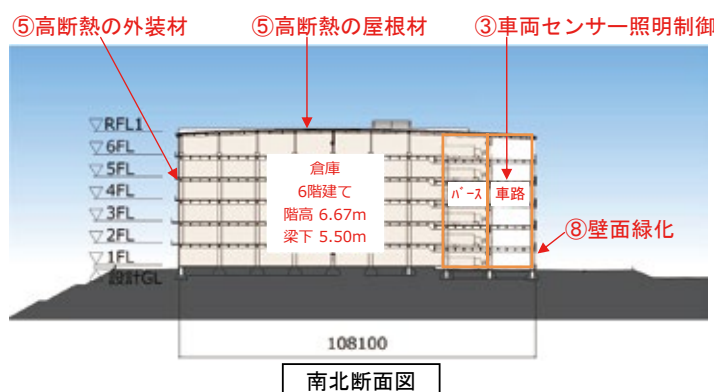
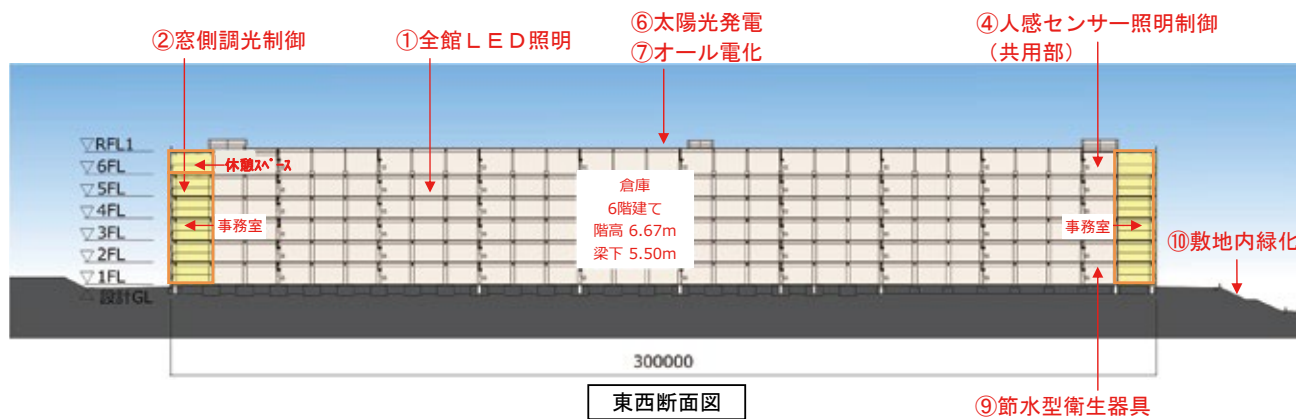
## 【立地、周辺環境】

北大阪の丘陵地に広がる国際文化公園都市「彩都」の中部地区に位置し、豊かな自然に囲まれている。大阪中心部へは約30分、名神高速道路「茨木IC」から5kmと西日本全域へのアクセスに優れた物流適地である。

## 【総合的なコンセプト】

日本最大級の自走式・マルチテナント型物流施設。45フィートコンテナが接車可能なトラックパースとランプウェイを装備。倉庫部分は入居企業の規模・ニーズに合わせて柔軟に対応できるフレキシビリティのある平面・設備計画とした。構造は大型倉庫に必要な大スパンを可能とするNewRCSS構法とし、さらに付加制振装置として座屈拘束型ダンパーを設け耐震性能を高めた。また約2MWの太陽光発電パネルや非常用電源、緊急地震速報システム、備蓄庫などにより入居企業の事業継続を支援し、全館LED照明や昼光制御、人感センサー、車両センサーなどを導入した最新の省エネルギー施設とした。敷地内を積極的に緑化することにより、周辺環境との調和に配慮した。

## 建物断面構成図



- ① 全館LED照明
- ② 窓側調光制御（事務室）
- ③ 車両センサー照明制御（車路・ランプ・外灯）
- ④ 人感センサー照明制御（廊下・階段・WC・ホール）
- ⑤ 高断熱の屋根材、外装材
- ⑥ 太陽光発電（屋根 2.0MW）
- ⑦ オール電化
- ⑧ 壁面緑化（歩行者アプローチ）
- ⑨ 節水型衛生器具（トイレ・パントリー）
- ⑩ 敷地内緑化（緑化率 35.4%）

## 環境配慮事項とねらい

- 照明の省エネルギー
  - ◆ 全館LED照明の採用【①】
    - ・全館に長寿命LED照明を採用
    - ・消費電力の削減と倉庫内での電球交換の負担軽減
  - ◆ 窓側調光の採用（事務室窓側）【②】
    - ・窓側の照明を明るさセンサーにより制御
    - ・自然光利用による省エネ効果
  - ◆ 車両センサー照明の採用（車路・ランプ・外灯）【③】
    - ・車路、ランプのLED照明をセンサーにより調光制御
    - ・屋外照明のエネルギー消費を約1/3に削減
  - ◆ 人感センサー照明の採用【④】（廊下、階段、WC、エレベーターホール）
    - ・人感センサーによる点滅制御とし、省エネに貢献
- 高断熱の屋根材、外装材【⑤】
  - ・屋根材、外装材にグラスウール、ロックウールをはさみ、断熱性に優れた材料を採用
  - ・開口部には熱線吸収ガラスを採用
- 太陽光発電【⑥】
  - ・屋根に約2.0MWの太陽光パネルを設置
  - ・再生エネルギー利用によるCO<sub>2</sub>削減
- オール電化【⑦】
  - ・オール電化システムを採用し、燃焼設備の無い大気汚染防止に配慮
- 壁面緑化【⑧】
  - ・歩行者アプローチである西側1階ランプ外壁に壁面緑化を設置（カロライナジャスミン）
  - ・ユニット型壁面緑化システムでCO<sub>2</sub>削減
- 節水の省エネルギー【⑨】
  - ・節水型トイレや自動水栓の採用
  - ・衛生器具に節水型器具等を採用し水使用量を削減
- 敷地内緑化【⑩】
  - ・敷地内を積極的に緑化することにより、周辺環境との調和に配慮
  - ・地域の自生樹木や環境条件に応じた多様性ある植栽
  - ・緑化率 35.4%、府条例で必要面積の2.7倍の緑地を確保。ヒートアイランド対策にも寄与

### ① 全館LED照明の採用

倉庫部分のLED照明

### ⑤ 高断熱の屋根材、外装材

上屋根丸断折板  
外装材  
屋根材  
芯材（ロックウール）  
ポリ入りグラスウール

### ② 窓側調光制御

昼光センサー  
窓側照明の調光  
窓側LED照明の調光制御  
外が明るいときは抑えて点灯  
外が暗いときは明るく点灯

### ⑥⑦ 太陽光発電とオール電化

建物屋根上の太陽光パネル

### ③ 車両センサー照明制御

車路照明の例  
・車が通行していない：20%の出力  
・車が通行：5灯先まで100%の出力  
センサー制御LED照明

### ⑧ 壁面緑化

立体金網  
登はんマット  
付着型つる植物  
西側1階ランプ外壁に設置

### ④ 人感センサー照明制御

共用廊下のセンサー照明

### ⑨ 節水の省エネルギー

節水型トイレ  
従来型 節水便器

### ⑩ 敷地内緑化

街並みゾーン (シタナリ、ナツメキ)  
ウェルカムゾーン (カサ、カサ)  
街並みゾーン (シタナリ、ナツメキ)  
エントランスゾーン (ナツメキ)  
エントランスゾーン (ナツメキ)  
サブエントランス  
ボーダーゾーン (ナツメキ)



# 守口市立さつき学園

機能をコンパクトにおさめ屋内外にゆとりのスペースを生み出す新しい義務教育学校

## 建物概要

- 所在地：守口市春日町
- 用途：義務教育学校
- 敷地面積：17,415.10㎡
- 建築面積：5,332.18㎡
- 延べ面積：14,206.58㎡
- 構造：鉄骨造 一部 鉄筋コンクリート造
- 階数：地上5階/地下1階
- CASBEE 評価：Aランク/BEE値 1.9
- 重点評価：CO<sub>2</sub>削減 3.7 / 省エネ対策 3.7  
みどり・ヒートアイランド対策 3.7

- 建築主：守口市
- 設計者：株式会社浦辺設計



↑ 南側の拡幅歩道沿いの景観

人工芝グラウンド東側から校舎を望む→



## 【立地、周辺環境】

京阪電車の土居駅前に位置し、周囲は北面の一部で、京阪電車沿いの幅員11mの市道に面している以外は、幅員4.5m～5.5mの細街路に面している。また西側は戸建住宅とマンションに接している。旧春日小学校敷地に校舎を、旧第三中学校敷地にグラウンドを整備し、同じ中学校区の滝井小学校と共に2小1中を統合した。

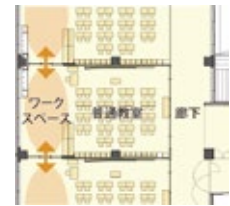
## 【総合的なコンセプト】

街中の狭小敷地に義務教育学校として9年間の連続した学びの場をコンパクトにおさめながら、教育環境面での配慮として、屋上のおおぞら菜園、校庭のバタフライガーデン、拡幅歩道の桜並木など、直接自然と接する場を整備した。また風の塔の自然換気システムや1年生から6年生までの普通教室内の窓側に設けるワークスペース（日本建築における広縁の考え方）など、温熱環境の緩衝装置を工夫している。周辺環境への配慮として、南側の拡幅歩道、西側の壁面後退、北側の低層化などによって、貴重な屋外のゆとりのスペースを生み出すと共に、桜並木の整備や既存樹木の保存によって、地域に親しまれる学校づくりを目指した。

## 建物断面構成図

### 窓側の直射日光を緩和するワークスペース

1年生から6年生の普通教室は13m×8mの総合型教室とし、窓側にワークスペースを設けることで、隣接教室を相互につなぎ、開放的な学習環境をつくる。このワークスペースは日本建築の広縁的な役割をもち、屋内外の緩衝空間となる。



↑ 教室廻り平面図



↑ 窓側にワークスペースを設けた普通教室

### 周辺環境にやさしく調和する 勾配屋根

建物の外周部は勾配屋根とし、周辺環境との調和を図っている。特に北側は重なる勾配屋根が徐々に低くなるようにし、日影の影響を最小化すると共に、高密度な都市空間にゆとりを与えている。

### 校舎内に自然な空気の流れをつくる風の塔

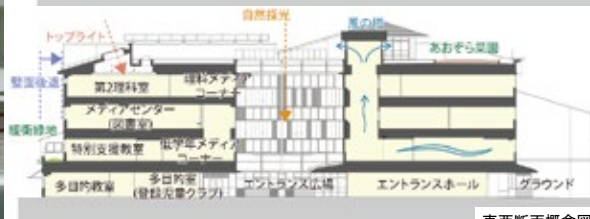
中庭を囲む回廊の一角に設けられたメイン階段に沿って、2階床から屋上までつながる吹抜をつくり、屋上の風の塔に設けた自動開閉換気窓で自然排気する。給気は各階廊下の、吹抜けから最遠部にガラリを設け、自然給気している。



南北断面概念図



↑ 左：中庭から望む風の塔  
右：階段の奥に風の塔の吹抜、さらに奥に被服準備室を望む



東西断面概念図



↑ 北側で徐々に低くなる勾配屋根

## 環境配慮事項とねらい



↑ 屋上のおおぞら菜園（奥左：風の塔 奥右：ガーデンハウス）  
← 西側の壁面後退と緩衝緑地

### 本格的な農作業ができる屋上のおおぞら菜園

深さ50cmの客土によって、畝をつくれば根菜の栽培ができる320㎡の本格的な菜園となっている。ガーデンハウスとテラスでの収穫野菜の選別や陶芸の作陶作業（ガーデンハウスに設置した電気窯）など、土と自然とのふれあいを通じて地域との交流が図れる。また、プールと菜園以外の屋上は、外断熱工法の防水仕上げとし、環境負荷を低減している。

### 西側隣地との間に設ける重層的な緩衝緑地

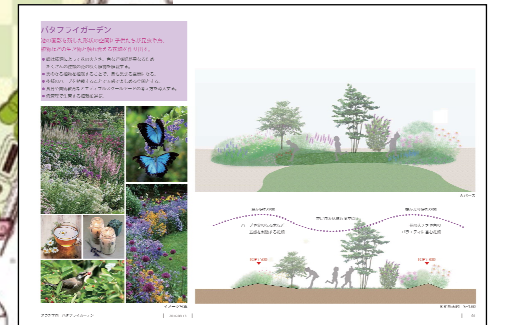
既存校舎は隣地境界に近接していたが、新築校舎は約6.4mセットバックすると共に、上層になるほどさらにセットバックし、1・2・4階にわたって重層的に緩衝緑地を設け、隣接マンションからの景観に配慮している。

### 外構の芝生化による砂埃の飛散防止

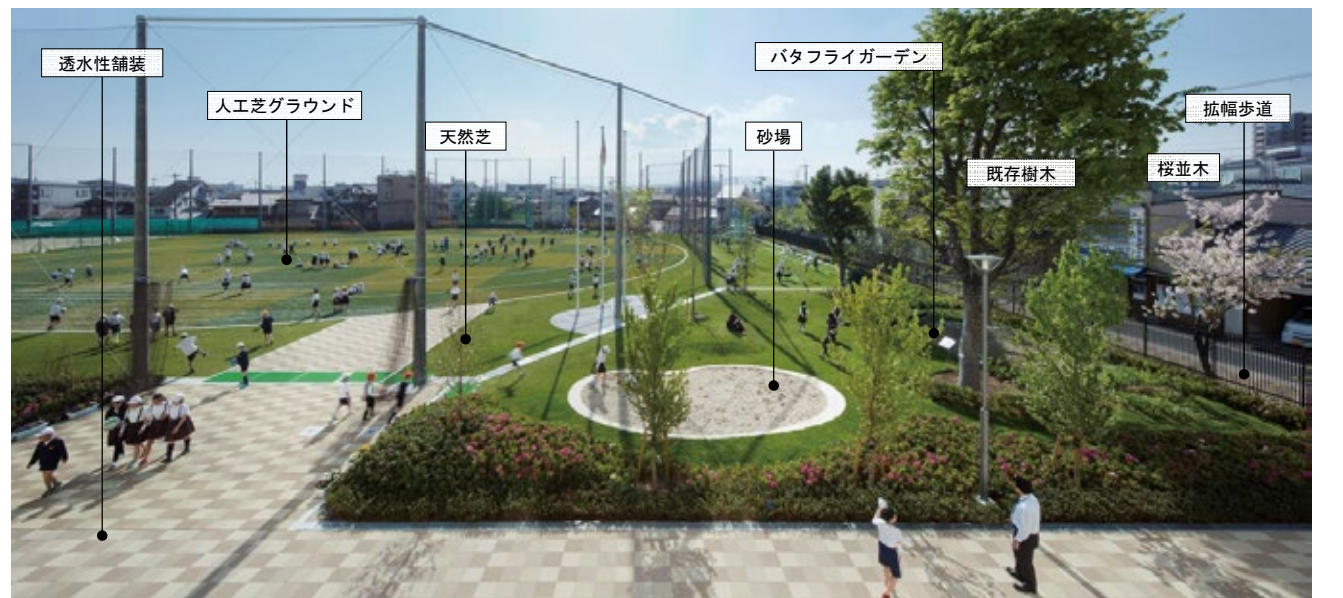
グラウンドは人工芝とし、年間を通して緑の景観をつくと共に、周辺への砂埃の飛散を防いでいる。また、人工芝周辺は天然芝とし、ヒートアイランドの防止に役立てると共に、自然との触れ合いを大切にしている。

### 様々な児童に配慮したバタフライガーデン

管理面や児童の安全への配慮から、水たまりをつくらないバタフライガーデンを整備した。



↑ バタフライガーデンの説明図



↑ 左：人工芝グラウンド 右：天然芝のエリア 既存樹木の奥にバタフライガーデン



受賞作品一覧

平成28年度おおさか環境にやさしい建築賞

- 大阪府知事賞**
- ダイキン工業テクノロジー・イノベーションセンター  
所在地：大阪府摂津市西一津屋  
建築主：ダイキン工業株式会社  
設計者：日建設計・NTT ファシリティーズ設計共同企業体
- 大阪市長賞**
- 関西電力病院  
所在地：大阪府福島区福島2丁目  
建築主：関西電力株式会社  
設計者：株式会社日建設計
- 住宅部門賞**
- グランロジューマン豊中少路  
所在地：大阪府豊中市少路2丁目  
建築主：関電不動産開発株式会社  
設計者：株式会社大林組大阪本店一級建築士事務所
- 事務所部門賞**
- アース環境サービス株式会社 彩都総合研究所 T-CUBE  
所在地：大阪府茨木市彩都あさぎ  
建築主：アース環境サービス株式会社  
設計者：大成建設株式会社一級建築士事務所
  - HK 淀屋橋ガーデンアベニュー  
所在地：大阪府中央区伏見町4丁目  
建築主：積水ハウス株式会社  
設計者：株式会社日建設計
  - 北おおさか信用金庫本店  
所在地：大阪府茨木市西駅前町  
建築主：北おおさか信用金庫  
設計者：株式会社梓設計
  - 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 大阪事業所 管理実験棟  
所在地：大阪府住之江区南港北1丁目  
建築主：独立行政法人 製品評価技術基盤機構  
設計者：鹿島建設株式会社
  - 公益財団法人 浅香山病院（一般科）  
所在地：大阪府堺市堺区今池町3丁目  
建築主：公益財団法人 浅香山病院  
設計者：株式会社東畑建築事務所
  - イオンモール堺鉄砲町  
所在地：大阪府堺市堺区鉄砲町  
建築主：イオンモール株式会社  
設計者：株式会社竹中工務店大阪一級建築士事務所
  - 堺市立総合医療センター・堺市消防局救急ワークステーション・堺市こども急病診療センター  
所在地：大阪府堺市西区家原寺町1丁目  
建築主：地方独立行政法人 堺市立病院機構  
設計者：株式会社日建設計
  - 市立吹田サッカースタジアム  
所在地：大阪府吹田市千里万博公園  
建築主：スタジアム建設募金団体  
設計者：株式会社竹中工務店大阪一級建築士事務所
  - 守口市立樟風中学校  
所在地：大阪府守口市西郷通3丁目  
建築主：守口市  
設計者：株式会社石本建築事務所

商業施設その他部門賞

平成27年度おおさか環境にやさしい建築賞

- 大阪府知事賞**
- ベルランド総合病院  
所在地：大阪府堺市中区東山  
建築主：社会医療法人 生長会  
設計者：清水建設株式会社関西支店一級建築士事務所
- 大阪市長賞**
- YANMAR FLYING-Y BUILDING  
所在地：大阪府北区茶屋町  
建築主：セイレイ興産株式会社  
設計者：株式会社日建設計
- 住宅部門賞**
- 大阪ひびきの街 ザ・サンクタタワー  
所在地：大阪府西区新町1丁目  
建築主：オリックス不動産株式会社、株式会社大京、京阪電鉄不動産株式会社、大和ハウス工業株式会社、大阪ガス都市開発株式会社  
設計者：株式会社大林組大阪本店一級建築士事務所
- 事務所部門賞**
- さかい利晶の社  
所在地：大阪府堺市堺区宿院町西2丁目  
建築主：堺市  
設計者：東畑・ダイシン設計共同体
  - 新ダイビル  
所在地：大阪府北区堂島浜1丁目  
建築主：ダイビル株式会社  
設計者：株式会社日建設計
- 商業施設その他部門賞**
- 日本生命保険相互会社 東館  
所在地：大阪府中央区今橋3丁目  
建築主：日本生命保険相互会社  
設計者：株式会社日建設計
  - 国立研究開発法人 産業技術総合研究所関西センター C-6棟  
所在地：大阪府池田市緑丘1丁目  
建築主：国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
設計者：株式会社安井建築設計事務所
  - hu+gMUSEUM（ハグミュージアム）  
所在地：大阪府西区千代崎3丁目  
建築主：大阪ガス株式会社、大阪ガス都市開発株式会社、株式会社オーゾースポーツ  
設計者：株式会社安井建築設計事務所
  - 三井不動産ロジスティクスパーク堺（MFLP堺）  
所在地：大阪府堺市堺区築港八幡町  
建築主：三井不動産株式会社（堺築港八幡特定目的会社）  
設計者：新日鉄住金エンジニアリング株式会社 西日本支社一級建築士事務所

■2006年～2014年までの受賞作品 下記ホームページをご覧ください。

大阪府 環境にやさしい建築賞 バンフレット 検索

[http://www.pref.osaka.lg.jp/kenshi\\_shinsa/casbee\\_index\\_html/setubi\\_osb\\_osb\\_estab.html](http://www.pref.osaka.lg.jp/kenshi_shinsa/casbee_index_html/setubi_osb_osb_estab.html)



過去の受賞建築物が掲載されているホームページ



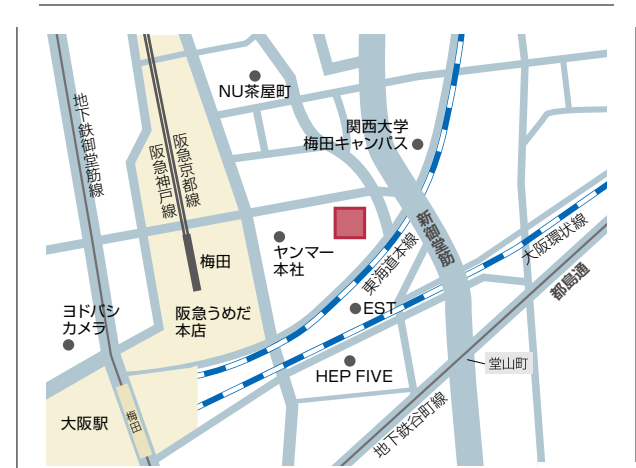
メディカルりんくうポート



プレミスト北千里クラッシィ



中之島フェスティバルタワー・ウェスト



大阪工業大学梅田キャンパスOIT梅田タワー



コイズミ緑橋ビル



EXPOCITY（エキスポシティ）







大阪商業大学ユニバーシティ・commons・リアクト



大阪府立病院機構大阪国際がんセンター



NIFREL



プロロジスパーク茨木

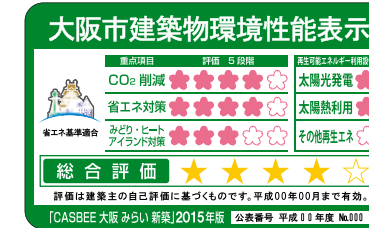


守口市立さつき学園



大阪城 © (公財)大阪観光局

# 建築物の環境配慮に関連する制度紹介



(平成27年4月1日以降に環境配慮制度に関する届出がなされる建築物から適用されるラベル)

## 建築物環境性能表示制度

分譲マンションや賃貸オフィスなどの募集広告に建物の環境性能を表示する制度で、快適で環境に配慮した建築物が市場で評価される仕組みづくりを目指しています。CASBEE評価と重点項目であるCO<sub>2</sub>削減、省エネ対策、みどり・ヒートアイランド対策について5段階で表示しており、平成27年度からは再生可能エネルギー利用設備の導入状況が追加されています。



## 建築物エネルギー消費性能基準 適合認定建築物

「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」に基づき、建築物が省エネ基準に適合している旨の所管行政庁の認定を受け、上記表示をすることができます。また「建築物エネルギー消費性能向上計画」は、省エネ基準を超える誘導基準に適合している旨の所管行政庁による認定を受け、容積率の特例を受けることができます。所管行政庁への認定申請に先立ち、登録建築物調査機関、登録住宅性能評価機関の技術的審査を受けることができます(技術的審査の活用とその範囲については所管行政庁により取り扱いが異なります。)



非住宅の表示例



住宅の表示例

## 建築物省エネルギー性能表示制度 (BELS)

(一社)住宅性能評価・表示協会に登録された登録BELS機関が、「建築物のエネルギー消費性能の表示に関する指針」(平成28年国土交通省告示第489号)に基づき、省エネルギー性能に関する評価・表示を行う制度です。

## 低炭素建築物 認定制度

「都市の低炭素化の促進に関する法律」に基づき、二酸化炭素の排出の抑制に資する建築物を認定する制度です。所管行政庁による「低炭素建築物新築等計画」の認定を受けることで、税制優遇措置や容積率の特例を受けることができます。所管行政庁への低炭素建築物新築等計画の認定申請に先立ち、登録建築物調査機関、登録住宅性能評価機関等の技術的審査を受けることができます(技術的審査の活用とその範囲については所管行政庁により取り扱いが異なります。)



新築・設計段階



新築・建設段階

## 住宅性能表示制度

「住宅の品質確保の促進等に関する法律」(平成12年4月1日施行)に基づき、良質な住宅を安心して取得できる市場を形成するために作られた制度です。構造耐力、省エネルギー性、遮音性など住宅に必要な性能が、統一されたルールで表示されますので、性能の確認や比較がしやすくなります。評価は国に登録された第三者機関(登録住宅性能評価機関)が行っています。

## 長期優良住宅 認定制度

「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」に基づき、長期にわたり良好な状態で使用するための措置が、構造及び設備について講じられた優良な住宅を認定する制度です。所管行政庁による「長期優良住宅建築等計画」の認定を受けることで、住宅ローン減税(所得税、個人住民税)、登録免許税、不動産取得税、固定資産税の税制上の優遇を受けることができます。所管行政庁への長期優良住宅建築等計画の認定申請に先立ち、登録住宅性能評価機関の技術的審査を受けることができます(技術的審査の活用とその範囲については所管行政庁により取り扱いが異なります。)





# Osaka Environmentally Friendly Architecture Award

監修：大阪府住宅まちづくり部建築指導室審査指導課  
大阪市都市計画局建築指導部建築確認課

発行：大阪府住宅まちづくり部建築指導室審査指導課  
〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎(さきしまコスモタワー)27階  
電話 06-6210-9725 FAX 06-6210-9719

このパンフレットは次の団体様のご協力により印刷いただいたものです。  
(公社)大阪府建築士会、(公財)大阪府都市整備推進センター、(一財)大阪建築防災センター、(一社)大阪府建築士事務所協会、  
(一財)日本建築センター、(一財)日本建築総合試験所、(一社)不動産協会関西支部、近畿建築確認検査協会



発行日：平成30年1月